

## 2 令和元年度入院患者状況

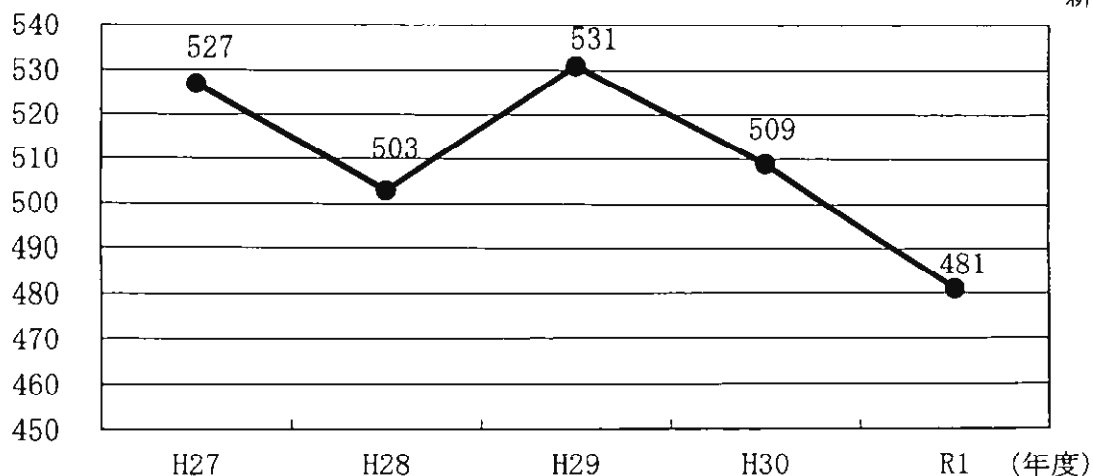
(H31. 4~R2. 3)

科 別	前年度 繰越	入 院	退 院	死亡 (再掲)	次年度 繰越	患者延数	一日平均
内 科	144	4,379	4,332	252	145	68,489	187.1
小 児 科	28	1,600	1,612	0	16	12,890	35.2
外 科	54	1,774	1,807	41	51	21,599	59.0
脳神経外科	9	243	239	6	13	4,911	13.4
整形外科	45	1,197	1,265	5	55	21,795	59.5
形成外科	1	99	103	0	1	901	2.5
心臓血管外科	1	56	56	1	1	620	1.7
皮膚科	4	191	196	1	6	2,781	7.6
泌尿器科	12	898	906	8	17	6,762	18.5
産婦人科	24	1,851	1,865	5	18	14,715	40.2
眼 科	0	298	293	0	1	1,016	2.8
耳鼻咽喉科	15	428	439	7	8	7,543	20.6
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0.0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	0	95	95	0	2	519	1.4
救命救急センター	15	761	658	254	14	5,399	14.8
小 計	352	13,870	13,866	580	348	169,940	464.3
感 染 症	0	0	0	0	0	0	0.0
感染小児科	0	0	0	0		0	0.0
精 神 科	17	172	183	1	14	5,954	16.3
合 計	369	14,042	14,049	581	362	175,894	480.6

注：小数点以下の端数処理の関係で、合計が一致しない場合がある。

入院患者数（1日平均）  
（人）

診療日数 240 日 平均通院日数 =  $\frac{\text{患者延数}}{\text{新患者数}}$



### 3 病棟の利用状況

#### (1) 病棟別患者数

病棟名	病床数		延病床数		入院患者 延数	前月 繰越患者	入院	転入
	公称	稼働	公称	稼働				
1 4 階 北	52	42	19,032	15,372	13,782	32	729	166
1 4 階 南	51	46	18,666	16,836	15,035	28	753	177
1 3 階 北	51	46	18,666	16,836	14,564	33	926	362
1 3 階 南	53	48	19,398	17,568	15,074	29	865	219
1 2 階 北	51	46	18,666	16,836	14,698	27	1,572	100
1 2 階 南	53	48	19,398	17,568	14,961	32	688	263
1 1 階 北	53	48	19,398	17,568	11,599	26	916	226
1 1 階 南	53	48	19,398	17,568	11,813	27	917	262
1 0 階 北	53	48	19,398	17,568	14,414	25	808	122
1 0 階 南	52	47	19,032	17,202	13,975	29	1,119	63
精 神	38	36	13,908	13,176	5,954	17	172	15
9 階 南	20	20	7,320	7,320	4,100	10	1,393	129
9 階 西 感 染	12	12	4,392	4,392	948	2	111	19
8 階 北	44	42	16,104	15,372	9,679	17	1,198	4
8 階 南	41	41	15,006	15,006	9,340	18	1,489	10
G C U	18	18	6,588	6,588	2,481	6	122	152
N I C U	6	6	2,196	2,196	2,102	6	160	0
I C U・C C U	12	8	4,392	2,928	1,375	5	104	638
合 計	713	650	260,958	237,900	175,894	369	14,042	2,927
新 生 児	0	0	0	0	5,434	11	858	0

(稼働日数 366 日)

病棟名	病床数		延病床数		入院患者 延数	前月 繰越患者	入院	転入
	公称	稼働	公称	稼働				
一般	663	602	242,658	220,332	169,740	352	13,851	7
感染症	12	12	4,392	4,392	200	0	19	0
精神	38	36	13,908	13,176	5,954	17	172	15
合計	713	650	260,958	237,900	175,894	369	14,042	22
新生児	0	0	0	0	5,434	11	858	0

(稼働日数 366 日)

注：小数点以下の端数処理の関係で、合計が一致しない場合がある。

(H31.4. 1~R2.3.31)

退 院	転 出	期 末 患者数	一日平均	病床利用率(%)		平均在院 日 数	死 亡	健全化用 平均在院日数
				公称	稼働			
861	40	26	37.7	72.4	89.7	17.3	51	16.3
877	49	32	41.1	80.5	89.3	18.4	49	17.4
1,135	154	32	39.8	78.0	86.5	14.1	48	13.0
1,022	56	35	41.2	77.7	85.8	16.0	55	14.9
1,602	70	27	40.2	78.7	87.3	9.3	12	8.3
859	93	31	40.9	77.1	85.2	19.3	33	18.2
967	172	29	31.7	59.8	66.0	12.3	23	11.3
966	213	27	32.3	60.9	67.2	12.5	30	11.5
858	62	35	39.4	74.3	82.0	17.3	2	16.3
1,152	34	25	38.2	73.4	81.2	12.3	8	11.3
183	7	14	16.3	42.8	45.2	33.5	1	32.5
475	1,052	5	11.2	56.0	56.0	4.4	253	3.9
85	41	6	2.6	21.6	21.6	9.7	0	8.8
1,199	5	15	26.4	60.1	63.0	8.1	0	7.1
1,504	4	9	25.5	62.2	62.2	6.2	0	5.2
276	1	3	6.8	37.7	37.7	12.5	0	11.1
10	150	6	5.7	95.7	95.7	24.7	0	24.6
18	724	5	3.8	31.3	47.0	22.5	16	22.2
14,049	2,927	362	480.6	67.4	73.9	12.5	581	11.5
858	0	11	14.8			6.3	0.0	5.3

退 院	転 出	期 末 患者数	一日平均	病床利用率(%)		平均在院 日 数	死 亡	健全化用 平均在院日数
				公称	稼働			
13,854	14	342	463.8	70.0	77.0	12.3	580	11.3
12	1	6	0.5	4.6	4.6	12.9	0	12.1
183	7	14	16.3	42.8	45.2	33.5	1	32.5
14,049	22	362	480.6	67.4	73.9	12.5	581	11.5
858	0	11	14.8			6.3	0	5.3

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{患者延数}}{\text{入院} + \text{退院}}$$

$$2$$

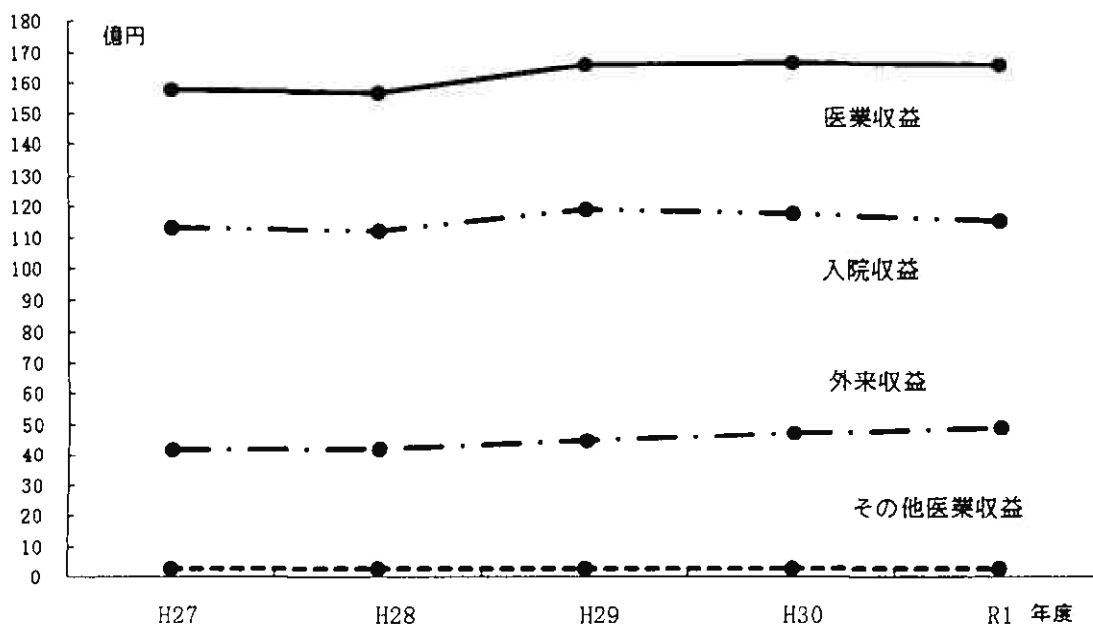
#### 4 科別収益状況

科別の収益状況は、平成30年度の医業収益に対し、令和元年度の医業収益は、外来収益が3.7%の増収、入院収益は2.4%の減収で、その他医業収益は4.8%の増収となりました。医業収益全体では、率で0.6%、額で約9千3百万円の減収となりました。

(H31.4～R2.3) (単位：千円)

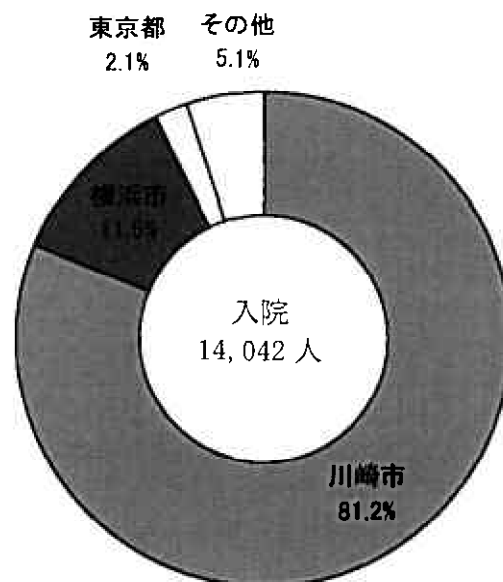
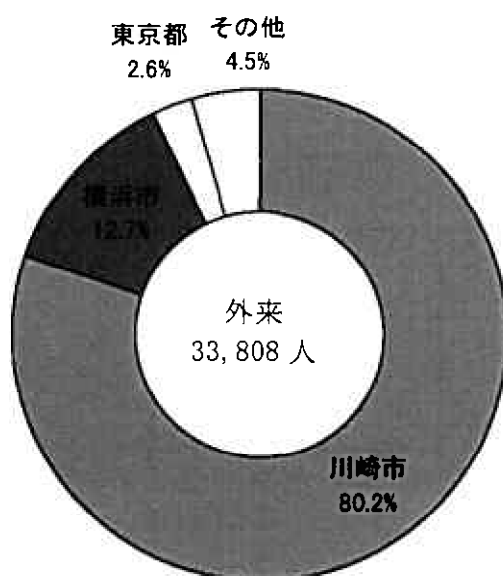
科 別	外 来		入 院		そ の 他 医業収益額	合 計	
	収益額	構成比率 (%)	収益額	構成比 率 (%)		収益額	構成比率 (%)
内 科	2,137,232	44.6	3,723,373	32.6	—	5,860,605	35.5
精 神 科	110,216	2.3	159,899	1.4	—	270,115	1.6
小 児 科	368,984	7.7	890,868	7.8	—	1,259,852	7.6
外 科	512,744	10.7	1,838,844	16.1	—	2,351,588	14.2
脳 神 経 外 科	129,384	2.7	422,591	3.7	—	551,975	3.3
整 形 外 科	206,056	4.3	1,656,101	14.5	—	1,862,157	11.3
形 成 外 科	19,168	0.4	57,107	0.5	—	76,275	0.5
心 臓 血 管 外 科	14,376	0.3	79,950	0.7	—	94,326	0.6
皮 膚 科	62,296	1.3	102,793	0.9	—	165,089	1.0
泌 尿 器 科	364,192	7.6	525,384	4.6	—	889,576	5.4
産 婦 人 科	273,144	5.7	982,239	8.6	—	1,255,383	7.6
眼 科	119,800	2.5	91,371	0.8	—	211,171	1.3
耳 鼻 咽 喉 科	143,760	3.0	434,013	3.8	—	577,773	3.5
リハビリテーション科	19,168	0.4	0	0.0	—	19,168	0.1
放 射 線 科	143,760	3.0	0	0.0	—	143,760	0.9
歯 科 ・ 口 腔 外 科	86,256	1.8	34,264	0.3	—	120,520	0.7
救命救急センター	81,463	1.7	422,591	3.7	—	504,054	3.1
感 染 症	—	—	—	—	—	0	0.0
その他医業収益	—	—	—	—	294,129	294,129	1.8
合 計	4,791,999	100.0	11,421,388	100.0	294,129	16,507,516	100.0

年度別収益グラフ



## 5 地区別新患外来・入院患者数

	区名	患者総数 (人)		構成比率 (%)		患者数及び比率	
		外 来	入 院	外 来	入 院	外 来	入 院
川 崎 市	川崎区	19,102	7,838	56.5%	55.8%	81.2%	80.2%
	幸区	6,144	2,614	18.2%	18.6%		
	中原区	1,394	455	4.1%	3.2%		
	高津区	451	173	1.3%	1.2%		
	宮前区	174	99	0.5%	0.7%		
	多摩区	150	65	0.4%	0.5%		
	麻生区	47	17	0.1%	0.1%		
市 外	横浜市	3,903	1,780	11.5%	12.7%	6,346	2,781
	東京都	719	371	2.1%	2.6%	18.8%	19.8%
	その他	1,724	630	5.1%	4.5%		
合計		33,808	14,042	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



## 6 救急患者取扱状況

### (1) 月別取扱状況

(H31.4~R2.3) (単位：人又は台)

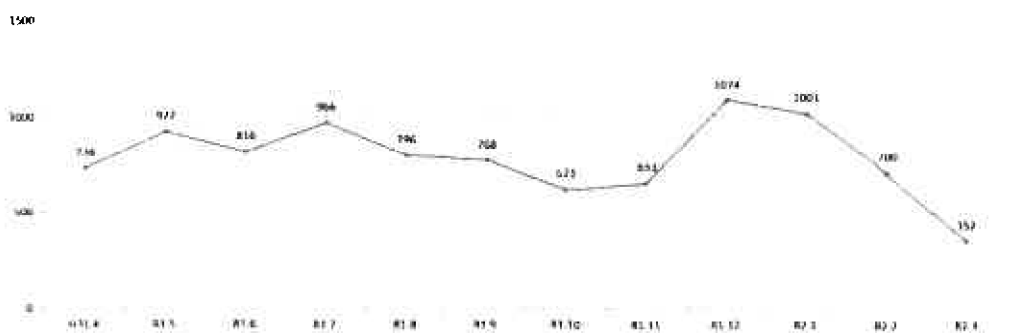
区分	交通事故	一般負傷	自損行為	急病	分娩	その他	合計	来院方法別患者数			合計
								救急車	パトカー	その他	
4月	6	109	2	1,532	49	94	1,792	333	1	1,458	1,792
5月	11	130	3	1,981	28	106	2,259	363	3	1,893	2,259
6月	14	122	2	1,555	29	77	1,799	339	2	1,458	1,799
7月	19	143	8	1,787	35	56	2,048	376	0	1,672	2,048
8月	25	116	2	1,717	37	65	1,962	373	2	1,587	1,962
9月	24	172	4	1,539	47	62	1,848	333	2	1,513	1,848
10月	23	144	2	1,370	35	77	1,651	365	3	1,283	1,651
11月	25	141	6	1,440	28	78	1,718	363	0	1,355	1,718
12月	25	156	7	2,204	31	72	2,495	437	1	2,057	2,495
1月	17	149	0	2,227	39	80	2,512	392	2	2,118	2,512
2月	24	130	3	1,427	28	76	1,688	336	2	1,350	1,688
3月	13	149	4	989	31	63	1,249	315	1	933	1,249
計	226	1,661	43	19,768	417	906	23,021	4,325	19	18,677	23,021
構成比率(%)	1.0	7.2	0.2	85.9	1.8	3.9	100.0	18.8	0.1	81.1	100.0

### (2) 科別取扱状況

(H31.4~R2.3) (単位：人)

区分	科別	内科	神経	小児	外科	脳外	整形	形成	心外	皮膚	泌尿	産婦人科	眼科	耳鼻	リハビリ	放射	口外	救命救急	計
外来	患者数	5,185	18	8,875	120	976	122	0	156	241	170	126	65	475	0	57	374	2,958	19,918
	構成比率(%)	26.0	0.1	44.6	0.6	4.9	0.6	0.0	0.8	1.2	0.9	0.6	0.3	2.4	0.0	0.3	1.9	14.9	100
入院	患者数	1,335	21	412	140	95	0	0	25	8	27	543	1	30	0	0	2	464	3,103
	構成比率(%)	43.0	0.7	13.3	4.5	3.1	0.0	0.0	0.8	0.3	0.9	17.5	0.0	1.0	0.0	0.0	0.1	15.0	100
計	患者数	6,520	39	9,287	260	1,071	122	0	181	249	197	669	66	505	0	57	376	3,422	23,021
	構成比率(%)	28.3	0.2	40.3	1.1	4.7	0.5	0.0	0.8	1.1	0.9	2.9	0.3	2.2	0.0	0.2	1.6	14.9	100.0

### (3) 令和元年度小児急病センター患者受入状況



## 7 救命救急センターの業務状況

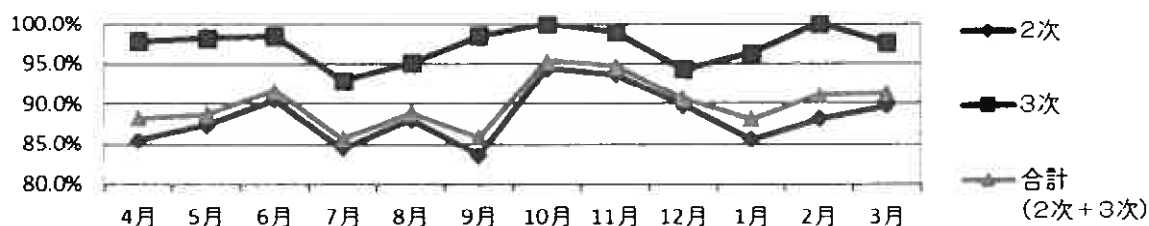
(1) 体制・施設規模（平成31年4月1日現在）

- ア 体制 医師（常勤13人、非常勤3人）／看護師（常勤64人、臨時職員3人）
- イ 施設規模 20床（ICU 4床、救急病床 16床）

(2) 受入状況

ア 当院で救急車を受入れた救急車総数（5,819台）のうち、ホットライン経由で救急車を受入れた件数は、4,843台で、応需率は2次88.4%、3次97.4%、2次・3次合わせて90.0%になります。  
（平成31年（令和元年）度）

平成31年（令和元年）度月別救急車応需率



イ 平成31年（令和元年）度救命救急センター受入状況

	総数	救急隊											傷病分類						トリアージ区分			転帰													
		時間			救急隊								内因性		外傷		CPA	1次	2次	3次	搬送	救急科からの入院												転送	死亡
		深夜	夜間	日中	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊		救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊	救急隊		
合計	4,843	1,695	1,901	1,247	4,332	168	3	216	48	78	2,548	(1153)	1,995	(535)	0	2,552	1,206	1,077	8	2,780	1,533	457	500	69	113	34	1	59	111	227					
1日平均	403.6	141.3	158.4	103.9	361.0	14.0	0.3	18.0	3.8	6.5	237.3	96.1	166.3	44.6	0.0	212.7	100.5	89.8	0.7	231.7	127.8	38.1	46.7	5.8	9.4	2.8	0.1	4.9	9.3	18.9					
1日平均	13.2	4.6	5.2	3.4	11.9	0.5	0.0	0.6	0.1	0.2	7.6	3.2	5.5	1.5	0.0	7.0	3.3	2.9	0.0	7.6	4.2	1.2	2.2	0.2	0.3	0.1	0.0	0.2	0.3	0.6					

ウ 平成31年（令和元年）度三次救急の内訳

(単位:人)

	計	重症脳血管障害	急性冠症候群・心不全	肝不全腎不全	多発外傷	急性中毒	意識障害	その他	CPA※心肺停止	CPAのうち蘇生成功数
合計	1,084	112	94	27	110	66	40	394	241	26
1日平均	3.0	0.3	0.3	0.1	0.3	0.2	0.1	1.1	0.7	—
傷病別割合	100.00%	10.33%	8.67%	2.49%	10.15%	6.09%	3.69%	36.35%	22.23%	—

※受入全体中の死亡者数215人（救命救急センター受入全体の19.83%）

エ 平成31年（令和元年）救命救急センター患者受入状況（件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
369	397	395	411	416	364	450	435	469	413	363	361	4,843

## 8 高度脳神経治療センターの業務状況

平成 29 年 4 月に、急性期脳卒中患者の治療の合理化・迅速化を図るために、高度脳神経治療センターが開設されました。

当センターは、脳神経外科、神経内科、救急科などの複数の臨床科の密な連携を図り、各科の専門医が迅速かつ正確な急性期脳卒中治療を提供いたします。当センターの特徴としては、

ア 脳神経外科を中心とする複数の関連した臨床科が協力して、迅速な治療を提供します。

イ 各科の専門医が、24 時間対応で、直接診療にあたります。

ウ 救急車搬送の救急患者さまが対象ですが、紹介による急性期患者も引き受けます。

エ 早期からリハビリを行い、脳卒中連携パスを利用して、早期の転院を促します。

(1) 診療体制（平成 31 年 4 月 1 日現在） 直属医師 3 名 兼務医師 20 名

脳神経外科：6 名（センター直属 3 名）

神経内科：3 名

救急科：5 名

総合内科：2 名

麻酔科：2 名

リハビリテーション科：3 名

放射線科：1 名

小児科：1 名

(2) 急性期脳卒中患者の受け入れ・治療状況

ア 超急性期脳梗塞患者の来院・治療状況

高度脳神経治療センター H29 年 4 月～R1 年 3 月

	患者数				t-PA 治療	血栓回収
	救急搬送	Walk In	院内発症	合計	施行例	施行例
H29 年度 合計	20	5	4	29	8	2
H30 年度 合計	20	9	10	39	12	4
R1 年度 合計	17	8	4	29	9	1
総合計	57	22	18	97	29	7

イ 脳血管障害患者の手術状況（過去 5 年間）

	H27 年	H28 年	H29 年	H30 年	H31/R1 年
脳動脈瘤手術	18(6)	21(13)	15(8)	17(7)	13(7)
破裂脳動脈瘤	8(3)	11(6)	8(5)	9(5)	8(4)
未破裂脳動脈瘤	10(3)	10(7)	7(3)	8(2)	5(3)
脳(硬膜)動静脈奇形手術	0(0)	3(1)	2(1)	3(3)	0(0)
高血圧性脳内血腫	7	6	7	3	5
閉塞性血管障害、他	2(1)	2(2)	11(10)	10(10)	12(12)

( ) 内は、そのうちの血管内手術件数



## 9 専門外来及び診療相談

### 各科専門外来

科 別	内 容
内科	リウマチ膠原病・痛風センター、循環器、呼吸器、糖尿病、消化器、腎臓、神経内科、内分泌、感染症
精神・神経科	心理面接
小児科	心臓、循環器、神経、内分泌、代謝、予防接種、腎臓、呼吸器、精神衛生、フォローアップ、アレルギー、血液
新生児内科	フォローアップ、1か月健診
外科	食道、胃、大腸、肛門、肝臓、胆嚢、膵臓、乳腺、血管、肺、小児外科
心臓血管外科	不整脈・心房細動、ペースメーカー
整形外科	外傷、リウマチ、骨粗しょう症、脊椎、(肩、肘、手、股、膝)関節外科、骨軟部腫瘍
産科・婦人科	手術診、子宮鏡、ハイリスク妊娠、婦人科腫瘍フォローアップ
眼科	網膜硝子体、白内障、光凝固、蛍光眼底、未熟児、視野
耳鼻咽喉科	頭頸部腫瘍、神経耳科、めまい、甲状腺
皮膚科	光線
泌尿器科	自己導尿指導、フォローアップ、超音波検査、ストマ及び特殊検査、膀胱鏡
歯科口腔外科	顎関節症、歯科矯正相談、うけ口、埋伏歯抜歯、歯科インプラント
リハビリテーション科	義肢装具、嚥下障害、ボトックス(痙縮治療)、高次脳機能障害

- 1 神奈川リウマチ友の会：関節リウマチや膠原病の患者を中心に組織し、リウマチ膠原病に関する知識の向上・会員相互の親睦を図ることを目的としています。昭和38年7月発足(当時40名)、昭和45年10月から「神奈川県リウマチ友の会」と改組し、事業として会誌の発行や講演会を開催し、日本リウマチキャンペーンの一翼となっています。
- 2 かわびょう糖友会(糖尿病友の会)：糖尿病の治療及び予防に関する知識の普及並びに会員の福祉の増進を目的として昭和38年に発足しました。糖尿病患者、医療スタッフ会員で組織されています。糖尿病啓発事業やスタッフ勉強会を開催するとともに、神奈川県糖尿病協会の運営の中核を担いながら、同協会主催の講演・講習会、研修旅行、ウォークラリーなどの各種事業に参加しています。
- 3 母親学級：当院で出産予定の妊婦を対象として、妊娠、分娩、産褥及び育児についての保健指導をしています。前期・後期の2回コースで、妊娠の生理、妊産婦の栄養、バースプラン、分娩の進行と呼吸法・補助動作、母乳育児、赤ちゃんについてなど、ビデオや実習を交えて行っています。それぞれに、医師、助産師、栄養士、看護師が担当しています。
- 4 分娩入院説明：当院での分娩予定者で、妊娠28週以降の方全員を対象に、オリエンテーションを行っています。内容は、入院の時期、入院時の持ち物、入院中の生活についてです。  
その目的は、陣発時や入院時の不安を軽減し、入院がスムーズにできることです。第1、第2水曜日に助産師・看護師が説明を行っています。

## 10 手術件数

### (1) 手術室における手術件数

	外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産科・婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科	精神科	麻酔科	救命科	合計
中央手術室	1,232	164	1,184	108	11	11	613	953	4	325	87	202	0	0	4,894
外来手術室	133	0	81	146	0	74	0	33	675	0	37	0	0	0	1,179
手術室合計	1,365	164	1,265	254	11	85	613	986	679	325	124	202	0	0	6,073

※ 産科・婦人科については外来手術室に分娩室を含む。

### (2) 心血管・検査、血管内治療・検査（手術室 No. 2・No. 3 室使用状況）

	放射線科	内科	心臓外科	脳神経外科	外科	他科	合計
血管内治療・検査	154		15	90	194		453
心血管治療・検査		645					645
ペースメーカー埋め込み			39				39
体外ペースメーカー		5					5
血管外治療・検査	36						36
その他	3	1	1	16	8		29
合計	193	651	55	106	202	0	1,207

## (3) 主な手術の内容

## ア 外科

術式	件		数
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
食道癌手術	4	3	5
食道裂孔ヘルニア手術	0	1	1
特発性食道破裂手術	1	0	0
胃全摘術	15	10	13
幽門側胃切除術	29	22	30
局所切除術	1	5	4
バイパス術	2	5	10
広範囲胃切除術	1	1	0
グラハム術	10	5	3
胃単純縫合術	0	0	0
合計	63	52	66
右側結腸手術	32	41	53
左側結腸手術	31	32	45
直腸手術	20	32	36
ハルトマン術	15	5	4
人工肛門造設術	30	20	19
人工肛門閉鎖術	6	8	13
肛門手術（痔核その他）	6	11	12
合計	140	149	182
肝切除術	28	27	47
胆嚢摘出術	80	134	149
膵頭十二指腸切除術	13	20	18
尾側膵切除術	10	3	8
その他	9	8	10
合計	140	192	232
乳癌手術	83	73	57
Bt	38	43	24
Bp	45	30	32
乳房温存率	54%	41%	57%
SN生検施行率	75%	75%	75%
良性疾患	6	20	11
合計	89	93	68
動脈瘤	30	38	47
末梢性動脈疾患	91	96	102
急性動脈閉塞症	36	30	26
下肢静脈瘤	51	52	58
内シャント関連	138	142	136
その他	16	20	25
合計	366	378	394

平成28年度より、術式の項目を変更。

イ 呼吸器外科

分 類	病 名 及 び 術 式	件 数		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
肺 癌	肺全摘出	0	1	0
	肺葉切除	33	21	11
	肺区域・部分切除	3	6	6
	胸腔鏡下肺葉切除	39	60	54
	胸腔鏡下肺区域・部分切除	5	14	19
	気管支形成術を伴う肺葉切除	2	0	2
	試験開胸術	0	1	0
転 移 性 肺 腫 瘍	肺全摘出	0	0	0
	肺葉切除	0	0	0
	肺区域・部分切除	4	5	7
	胸腔鏡下肺葉切除	0	1	0
	胸腔鏡下肺区域・部分切除	10	9	10
肺（その他悪性）	胸腔鏡下肺区域・部分切除	1	1	3
肺（良 性）	肺全摘出	0	0	0
	肺葉切除	3	1	3
	肺区域・部分切除	2	0	0
	胸腔鏡下肺葉切除	0	0	0
	胸腔鏡下肺区域・部分切除	3	2	1
気胸・嚢胞性肺疾患	肺部分切除・肺縫縮術等	2	1	4
	胸腔鏡下肺部分切除・肺縫縮術等	33	18	28
縦 隔 腫 瘍	胸腺摘出術	4	6	6
	腫瘍摘出術	7	5	4
重症筋無力症	拡大胸腺摘出術	0	0	0
縦 隔（その他）	腫瘍・リンパ節生検	5	2	1
	リンパ節摘出	0	0	0
	交感神経節切除	0	0	0
胸 膜（悪 性）	胸膜肺全摘	0	1	1
	生検	4	3	0
胸 膜（良 性）	腫瘍摘出術	0	0	0
	生検	7	5	2
	開窓術	0	0	0
	筋弁充填・剥皮術	0	0	0
胸 外 壁 傷 の 他	腫瘍摘出術	0	2	2
	肺葉切除等	0	0	1
		5	4	1
計		127	172	166

ウ 脳神経外科

分類	病名及び術式	件数		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
腫瘍	メニンジオーマ	9	10	8
	グリオーマ	10	8	7
	転移性脳腫瘍	24	16	9
	頭蓋咽頭腫	0	0	0
	下垂体腫瘍	5	5	6
	その他の腫瘍	5	5	6
血管疾患	脳動脈瘤（直達手術のみ）	8	11	5
	高血圧性脳出血	6	3	5
	脳動静脈奇形（直達手術のみ）	1	0	0
	血管内手術・出血性疾患（脳動脈瘤・動静脈奇形）	9	6	8
	血管内手術・閉塞性疾患（ステント・血栓除去など）	10	12	10
	その他（水頭症など）	10	10	13
外傷	慢性硬膜下血腫（水腫）	19	41	34
	急性硬膜下血腫	7	4	5
	急性硬膜外血腫	2	3	4
	陥没骨折	1	0	0
	骨弁形成術・減圧開頭術	5	1	2
	その他（水頭症など）	5	0	0
水頭症	癌性髄膜炎・正常圧水頭症など	39	23	23
	髄膜瘤など	0	0	0
その他	その他	44	33	34
		219	191	179

エ 整形外科

術 式	件		数
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
脊柱、脊髄、頸椎、前方	8	15	19
"、後方	42	52	58
胸椎、前方	193	0	1
"、後方		9	25
腰椎、前方	134	15	17
"、後方		144	166
腱、神経	85	79	35
骨 折	384	369	336
骨折以外の外傷	37	40	29
抜 釘	102	83	81
手の手術	94	125	134
先天性奇形	5	4	2
骨軟部腫瘍	35	47	16
関節鏡 手	10	17	30
肘	8	5	3
肩	132	57	63
膝		47	26
股	4	3	1
人工股関節	59	66	70
人工膝関節	156	97	89
人工肩関節		21	13
その他の人工関節(肘、指、足)	7	7	4
上肢切断術(指含む)	2	3	0
下肢切断術(踵含む)	12	19	20
その他	47	0	27
計	1,284	1,324	1,265

オ 形成外科

分 類	件 数		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
I. 外傷	243	310	327
II. 先天異常	21	3	11
III. 腫瘍	208	188	219
IV. 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	43	50	29
V. 難治性潰瘍	26	24	22
VI. 炎症・変性疾患	18	19	12
VII. 美容（レーザー）	60	85	28
VIII. その他	8	11	28
計	627	690	676

カ 心臓血管外科

分 類	病 名	術 式	件 数					
			平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度			
心大血管	大動脈	人工血管置換術 他 開心術	30	0	1			
	●胸部、胸腹部							
	先天性心疾患	1	0					
	後天性心疾患	人工弁置換術、弁形成術 冠動脈バイパス術 他 メイズ手術（単独）	23	0	4			
	●弁 膜 症							
	●冠動脈疾患					9	0	2
	●心房細動					0	0	
	●そ の 他					0	0	1
	心外傷	ペースメーカー移植 心カテアングリオ検査 その他	} 60	} 48	} 40			
	その他							
計	93					48	48	

キ 皮膚科

術 式	件 数		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
皮膚生検	178	147	96
皮膚良性腫瘍摘出	295	240	199
皮膚悪性腫瘍摘出	13	27	10
計	486	414	305

ク 泌尿器科

術 式	件 数		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
後腹膜腫瘍摘出	1	0	0
腹腔鏡下副腎摘除術	2	3	3
副腎全摘除術	0	0	0
腎摘除術（良性）	0	1	0
根治的腎摘除術（悪性）	0	2	2
腎部分切除術	3	1	1
腹腔鏡下腎摘除術	14	16	11
腹腔鏡下腎部分切除術	10	3	1
ロボット支援腎部分切除術	—	4	9
腎尿管全摘除術	0	2	0
腹腔鏡下腎尿管全摘除術	14	16	19
腎盂形成術	0	1	0
腹腔鏡下腎盂形成術	1	1	0
腎瘻造設術	12	18	18
P N L	3	6	3
腎盂切石	1	1	0
膀胱切石術	1	0	1
膀胱全摘除術	1	0	0
腹腔鏡下膀胱全摘除術	11	9	12
回腸導管造設術（膀胱全摘を伴うもの）	10	7	12
回腸導管造設術（膀胱全摘を伴わないもの）	1	0	1
代用膀胱造設術	1	0	0
尿管皮膚瘻造設術	0	1	0
経尿道的手術			
a) 膀胱結石、異物	9	20	14
b) TURBT	110	140	131
c) TURP (TURB, HoLEPを含む)	53	52	54
d) TUL	81	82	62
e) 経尿道的尿管狭窄拡張術	2	3	2
f) 内尿道切開切開術	2	16	11
g) 尿道狭窄拡張術	6	3	3
膀胱尿管新吻合	2	0	0
尿管尿管吻合	0	2	0
膀胱修復術	2	0	3
包茎手術（環状切開）	4	4	4
精巣摘出術	4	16	11
高位精巣摘除術	2	4	2



術式	件数		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
精巣固定術（停留精巣）	0	0	0
精巣（睪丸）捻転手術	1	2	2
陰嚢水腫根治手術	5	4	4
精索静脈瘤切除術	0	1	0
尿膜管嚢胞切除術	0	4	0
前立腺摘除術	0	0	0
腹腔鏡鏡下前立腺摘除術	0	0	0
ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術	42	51	57
前立腺針生検術	150	179	175
陰茎全摘除術	0	0	0
陰茎部分切除術	0	1	0
陰茎癌鼠径リンパ節廓清術	0	0	0
陰茎折症	0	0	0
E SWL	33	31	15
腎生検	9	5	7
尿管ステント留置	89	109	92
経皮的腎嚢胞縮小術	1	0	0
CVポート	8	5	8
膀胱瘻造設術	3	2	3
R P	22	34	41
膀胱部分切除術（腹腔鏡含む）	0	0	2
腹腔鏡下尿膜管切除術	3	4	2
腹腔鏡下腎嚢胞開窓術	0	0	1
フルニエ手術	0	0	3
膀胱膣瘻閉鎖術	0	0	1
カルンクラ切除術	0	0	2
小腸利用代用尿管手術（腹腔鏡含む）	0	0	2
経尿道的電気凝固止血術	2	7	17
計	741	873	824

ケ 産科・婦人科

術 式	件 数		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
内視鏡手術 合計	405	434	411
腹腔鏡手術 合計	202	234	214
腔式子宮全摘術	67	89	51
子宮筋腫核出術	45	43	44
付属器切除術	32	33	39
卵巣腫瘍摘出術	40	57	60
卵管開口術			
子宮外妊娠手術	12	7	13
その他	6	5	7
子宮鏡手術 合計	203	200	197
粘膜下筋腫摘出術	183	168	171
その他	20	32	26
婦人科開腹手術 合計		129	155
良性腫瘍手術 合計	106	81	92
腹式単純子宮全摘術	67	48	49
腔上部切断術	0	0	0
子宮筋腫核出術	23	23	28
付属器切除術	7	8	7
卵巣腫瘍摘出術	5	0	5
子宮外妊娠手術（開腹）			0
その他良性腫瘍手術	3	2	3
悪性腫瘍手術 合計	49	48	63
拡大子宮全摘術	22	18	1
広汎子宮全摘術	3	3	0
卵巣癌根治術	12	13	12
試験開腹	3	1	2
その他悪性腫瘍手術	9	4	48
産科手術 合計	268	265	325
帝王切開術	250	257	310
妊娠子宮摘出術		0	0
頸管縫縮術	4	3	4
卵管結紮術	14	5	11
その他産科手術		0	0
腔式手術 合計		73	81
子宮全摘＋腔壁形成	3	2	2
腔壁形成術	5	7	2
腔閉鎖術	2	0	1
子宮腔部円錐切除術	68	45	53
バルトリン腺手術	0	1	2
その他腔式手術	15	18	21
子宮内容除去手術 合計		54	58
流産手術		39	22
胞状奇胎除去術			12
人工妊娠中絶術			1
内膜ポリープ切除術			
全面搔爬術		15	23
計	993	942	1,030

コ 眼科

術 式	件 数		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
白内障	209	258	388
硝子体手術	56	34	47
緑内障	3	0	0
網膜剥離（強膜バックリング）	1	0	0
斜 視	0	0	2
眼瞼腫瘍	0	0	2
眼瞼内反、眼瞼外反	0	2	0
眼球破裂	1	0	0
眼内異物	0	0	2
翼状片	2	2	2
霰粒腫	0	1	0
黄斑下血腫移動術	0	0	0
眼内レンズ整復	2	1	1
結膜弛緩症	0	0	1
眼内レンズ縫着術・強膜内固定術	7	5	5
眼窩脂肪ヘルニア	0	0	0
眼瞼下垂	0	1	0
その他	2	9	0
硝子体注射	153	177	246
光凝固術			
網 膜	28	28	76
緑内障	8	8	2
後発白内障	28	28	64
光線力学療法	0	14	18
計	500	501	839

サ 耳鼻咽喉科

分類	病名	術式	件数			
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
耳	慢性中耳炎	鼓室形成	2側	1側	8側	
		乳突削開術	2側	2側	3側	
		鼓膜形成	2側	1側	2側	
	滲出性中耳炎	鼓室内チューブ留置	38側	28側	29側	
		先天性耳瘻孔	4側	3側	1側	
鼻	外耳道その他		1	1	1	
		良性腫瘍	腫瘍摘出	5	5	0
	慢性副鼻腔炎	内視鏡下副鼻腔手術	45側	37側	32側	
		頬部嚢腫	上顎洞根本術	0	2	0
	鼻中隔彎曲症	鼻中隔矯正術	17	16	17	
		肥厚性鼻炎	下甲介切除術	4側	6側	8側
	上顎骨鼻骨骨折	整復	6	4	0	
		鼻茸その他	3	4	0	
	鼻副鼻腔悪性腫瘍		1	4	1	
		咽頭	アデノイド増殖	アデ切除	31	31
	慢性扁桃炎	扁桃摘出	89側	98側	88側	
咽頭良性腫瘍		摘出・切除	8	4	6	
喉頭	声帯ポリープ、他	ラリngoマイクro	23側	24側	6側	
		ラリngoマイクro	7	12	20	
舌・口腔	良性腫瘍・チステ	摘出・切除	2	5	4	
		他				
顎頸部	唾液腺手術	良性手術摘出	23	18	15	
			(顎下腺 8、 耳下腺 15)	(顎下腺 10、 耳下腺 8)	(顎下腺 4、 耳下腺 11)	
	甲状腺手術	悪性手術摘出	6	3	4	
		良性手術摘出	12	9	11	
	頸部のう胞他	悪性手術摘出	13	24	15	
		リンパ節	摘出	4	5	7
	気管切開		15	21	17	
			41	43	17	
	頭頸部悪性	舌・口腔	悪性手術摘出	8	7	15
			咽頭	悪性手術摘出	12	17
喉頭		悪性手術摘出	5	4	3	
		頸部郭清	26	38	39	
その他		皮弁形成	5	7	2	
			48	39	23	
計			447	508	439	

シ 歯科口腔外科

術式	件数		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
〈入院手術症例〉			
上下顎骨形成術	3	1	2
顎顔面多発骨折観血的整復固定術	2		3
下顎骨骨折観血的整復固定術	9	3	5
頬骨骨折観血的整復固定術			
固定金属板除去術	9	7	5
唇顎口蓋裂手術			
顎骨嚢胞摘出術	33	23	27
顎骨骨髓炎手術	5	6	3
上顎洞根本術			
上顎洞口腔瘻閉鎖術			1
唾石摘出術		1	1
腫瘍摘出術	23	23	18
顎骨腫瘍摘出術	4	2	4
口腔・顎・悪性腫瘍切除術	4	4	3
顎骨・顔面再建術		1	1
下顎・口蓋隆起形成術	7	2	
埋伏歯抜歯術	20	23	36
顎関節脱臼観血手術			
顎関節授動術（開放）			
歯根端切除術	15	18	25
インプラント関連手術	3	4	2
心身障害児歯科治療	5	1	2
その他	12		
〈外来手術症例〉			
埋伏歯抜歯術	1,092	872	993
抜歯術	1,139	1,246	1,146
嚢胞摘出術	73	88	133
歯根端切除術	41	39	69
縫合術	27	23	13
腫瘍摘出術	41	40	53
矯正用インプラント埋入術	13	18	30
インプラント埋入術	17	14	13
インプラント骨移植術	3	2	5
その他	334	323	279
計	2,917	2,784	2,872

## 11 分娩件数

術 式	件 数		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
単胎分娩	950	866	871
双胎分娩	11	15	22
経膣分娩	711	624	594
帝王切開分娩	250	257	299
帝王切開率	26.0%	29.2%	33.4%
早産分娩	105	86	110
正期産分娩	867	808	883
過期産分娩	0	0	0
早産率	10.8%	9.6%	12.0%
吸引分娩	33	69	50
鉗子分娩	0	0	0
骨盤位分娩	0	0	0
V B A C	1	0	0
予定帝王切開	150	144	147
緊急帝王切開	100	113	152
緊急帝王切開率	10.4%	12.8%	17.0%
母体搬送依頼（出）	3	7	2
母体搬送応需（入）	40	38	27
院外分娩	5	3	0
分娩時平均年齢	31.1 歳	31.3 歳	31.4 歳
初産	468	456	453
経産	504	440	456
男児	485	453	481
女児	487	443	434
川崎区	525	483	513
幸区	206	166	181
中原区	31	28	24
川崎市	787	698	740
鶴見区	58	51	58
横浜市	85	91	85
大田区	29	41	17
東京都	52	62	38
川崎市民の割合	81.9%	79.2%	82.9%
分 娩 件 数	961	881	893
分 娩 総 数	972	896	915

## 12 麻酔科及びMEセンター状況

### (1) 麻酔科

分類・年度	診療科																計
	一般外科	心臓外科	形成外科	放射線科	精神科	脳外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	産科・婦人科	眼科	耳鼻科	歯科口腔外科	循環器科	麻酔科	救急科	
麻酔科 管理	28	807	76	78	10	340	84	1049	7	440	1000	2	212	54	1	0	1
	29	903	49	78	3	251	112	1070	4	504	949	0	259	73	0	1	0
	30	943	1	68	29	227	85	1124	9	607	993	3	286	49	8	6	0
	1	1094	80	96	38	202	87	1126	10	588	953	4	287	70	1	0	0

### (2) MEセンター

医療機器が多用される最近の医療現場では、医師や看護師のみでは効率的かつ安全な医療の遂行が難しくなり、医学的な知識のみならず工学的な知識と技術を持つ専門家として、昭和63年に誕生したのが臨床工学技士です。臨床工学技士は医療技術者の一つで、厚生労働大臣の免許を受けて「医師の指示の下に呼吸、循環、代謝に関わる生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを業とする」（臨床工学技士法第2条）とされています。

業務体制としては、手術室部門・人工呼吸器部門・血液浄化部門・心臓カテーテル部門・ペースメーカー部門・ME機器部門など多岐に分かれます。

#### ア 臨床業務実績

業務内容	項目	平成30年度	令和元年度
血液浄化	CHDF	185	93
	PMX-DHP	5	4
	PE	18	4
	ビリルビン吸着	0	0
	出張HD	53	8
	LCAP	0	0
透析室	透析室	1199	1198
人工呼吸器	人工呼吸器ラウンド	2354	2084
	RST 総合ラウンド	397	285
	回路交換	8	2
カテーテル業務	CAG	333	292
	PCI	192	182
	緊急カテ	82	76
	IVUS	217	176
	FFR	36	56
	Rotabrator	28	0
	テンポラリーPM挿入	9	11
IABP	5	6	

ペースメーカー業務	新規植込	26	20
	電池交換	21	22
	植込1週間後チェック	17	13
	緊急チェック	62	12
	術中管理	22	19
	外来	303	447
体外循環	人工心肺	0	7
	PCPS (管理日数)	16(44)	14(45)
	V-V ECMO	0	0
オペ室業務	セルセーバー	71	92
	オペ室対応	563	612
	da vinci 業務	54	68
	脳神経外科ナビゲーション	36	32
	術中神経モニタリング	0	0
病棟	病棟対応	157	104

イ 機器管理業務実績

	項目	平成 30 年度	令和元年度
点検	輸液ポンプ	1114	1017
	シリンジポンプ	721	628
	除細動器	185	181
	自動体外式除細動器	99	100
	閉鎖式保育器	231	209
	PCA ポンプ	131	133
	人工呼吸器	915	898
	人工心肺	0	7
	PCPS	16	14
	テンポラリーPM	116	288
	麻酔器	2349	2412
	血液ガス装置	488	488
	電気メス	2333	2377
	ハーモニック	190	258
	サンダービート	92	60
	高周波メス	23	23
	内視鏡	1193	1247
	ソノサージ	4	9
	医療用レーザー	84	90
	手術支援システム	21	68
離床センサー	25	24	



	経腸栄養ポンプ	4	5
	反復圧迫治療器	303	235
	パルスオキシメーター	284	280
	超音波ネブライザ	24	27
	ベッドサイドモニタ	581	592
	送信機	40	42
	血圧計	104	110
修理	輸液ポンプ	1	6
	シリンジポンプ	6	14
	血圧計	46	5
	反復圧迫治療器	80	46
	送信機	9	0
	ベッドサイドモニタ	6	2
	低圧持続吸引器	3	3
	経腸栄養ポンプ	2	1

### 13 内視鏡センター利用状況

分 類	件 数		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
上部消化管内視鏡	5,588	5,652	5,255
超音波内視鏡	6	7	12
食道・胃粘膜切除術 (食道粘膜切除術)	34	42	46
(胃粘膜切除術)	7 (ESD5)	10 (ESD8)	17 (ESD16)
中・下咽頭粘膜切除術	27 (ESD27)	32 (ESD31)	28 (ESD26)
上部消化管静脈瘤治療 (EVL)	0	0	0
(EIS)	28	20	26
	(27)	(18)	(26)
	(1)	(2)	(0)
胃静脈瘤硬化療法 (SOS)	0	0	1
狭窄拡張術	34	31	57
止血術	121	126	96
人工食道挿入	0	0	0
胃ろう造設 (PTEG)	54	71	57
イレウス管挿入	9	3	3
異物除去	22	20	17
下部消化管内視鏡	2,028	2,179	2,231
大腸粘膜切除術	263 (ESD15) 3	303 (ESD5)	339 (ESD8)
大腸ポリペクトミー	133	132	200
吻合部拡張術	0	10	4
止血術	17	20	24
カプセル内視鏡	13	21	21
気管支鏡	320	276	208
経気管支肺生検			
膵・胆道内視鏡	327	384	419
逆行性膵・胆管造影	225	260	238
超音波内視鏡	102	124	181
EUS-FNA	(5)	(20)	(22)
乳頭括約筋切開術	80	97	78
乳頭バルーン拡張術	22	15	10
胆管結石採石・砕石術	80	108	74
経鼻胆道ドレナージ術	86	95	87
胆管ステント挿入術	42	41	51
膵管ステント挿入術	17	19	17
乳頭切除術	3	1	0
細胞診	1	1	0
組織診	0	0	0
計	8,278	8,518	8,137

## 14 クリニカルパス使用件数

令和元年度クリニカルパス使用件数

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
14N	11	12	9	10	16	8	12	14	10	12	13	13	140
14S	5	11	10	9	11	12	13	12	13	10	11	10	127
13N	33	41	42	39	39	33	36	53	34	40	48	35	473
13S	12	9	8	20	10	12	24	19	9	11	14	9	157
12N	94	103	120	132	106	102	117	128	105	117	97	111	1,332
12S	17	18	19	27	16	13	10	14	18	19	22	16	209
11N	23	32	51	57	47	53	60	59	50	34	54	52	572
11S	32	39	44	51	44	50	55	49	44	44	50	64	566
10N	78	76	73	87	68	64	72	68	67	65	65	74	857
10S	82	69	85	101	94	88	100	102	91	83	85	87	1,067
9N	1	4	5	6	5	5	4	5	5	7	6	7	60
9S	9	7	7	14	16	7	8	15	7	12	10	6	118
9W	0	2	2	1	0	0	1	1	0	4	1	0	12
8N	129	103	104	115	124	110	128	112	100	98	105	115	1,343
8S	20	24	27	21	31	26	27	22	23	20	11	15	267
8W	15	9	7	11	8	7	13	9	4	10	7	7	107
I C U	1	2	2	1	1	1	2	2	2	1	1	1	17
O P E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	562	561	615	702	636	591	682	684	582	587	600	622	7,424

## 15 外来治療センター利用状況

令和元年度治療患者数

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大腸	45	45	34	38	42	28	42	34	30	42	38	43	461
胃	20	23	23	25	26	21	23	26	24	23	20	19	273
肝胆膵	32	36	39	35	34	37	35	29	19	22	29	35	382
乳腺	51	52	54	53	48	41	45	37	35	39	40	50	545
呼吸器	66	54	51	56	66	48	66	53	60	49	45	60	674
造血器	21	15	17	21	19	18	31	24	14	23	14	18	235
婦人科	6	12	22	23	26	16	13	13	8	13	17	29	198
脳神経	12	7	12	13	12	13	6	11	13	10	10	19	138
泌尿器	25	21	22	23	23	20	24	23	19	20	19	26	265
頭頸部	14	7	6	12	12	8	10	10	19	18	18	19	153
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生物学的製剤	40	45	41	49	46	46	48	41	49	41	38	45	529
合計	332	321	321	348	354	296	343	301	290	300	288	368	3862
診療日数	20	19	20	22	21	19	21	20	20	19	18	21	240
1日当たり	16.6	16.9	16.1	15.8	16.9	15.6	16.3	15.1	14.5	15.8	16.0	17.5	16.1

## 16 血液透析室利用状況

令和元年度治療患者数（入院日基準）

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
透析患者	14	12	11	18	15	19	11	15	18	12	7	18	170
うち導入	1	2	1	4	6	3	3	2	2	1	1	2	28
CART	1	2	0	4	2	0	2	1	2	1	4	4	23
合計	15	14	11	22	17	19	13	16	20	13	11	22	193

※CART:腹水濃縮濾過再静注法

## 17 薬剤部業務状況

薬剤部の業務は、調剤・注射薬調製、薬剤管理指導、薬品管理、医薬品情報管理、製剤の5部門に大別され、その内容は次に示すとおりです。調剤関係業務については、病院の外来及び入院患者数の動向に直接的な影響を受けており、令和元年度の院外処方箋枚数は前年度より1日平均20枚減少しました。持参薬の確認・鑑別業務についても前年度より約80件減少しましたが、泌尿器科及び整形外科の一部を対象にした薬剤師外来は638件/年と前年度並みの利用がありました。薬剤管理指導業務については、休業職員の復帰による担当者の増員及び新たに10北病棟の病棟薬剤業務を開始したことが影響し、全体として昨年度より約2,200件増加しました。薬品管理部門では、前年度に引き続き後発医薬品への切替えを積極的に行い、後発品使用率(数量シェア)は約90%となりましたが、がん治療等における高額薬品の使用増加に伴い、薬品購入金額は前年度より約6千8百万円の増加となりました。

### (1) 調剤・注射薬調製業務

アに科別、病棟別の外来・入院処方箋枚数を示しました。外来患者数が減少したことにより、外来院外処方箋枚数は昨年度より約5,100枚減少し、外来院内処方箋枚数は昨年度より約620枚減少しました。イに月別の外来処方箋枚数と院外処方箋発行率を示しましたが、院外処方箋発行率は昨年度とほぼ同じでした。ウに持参薬確認件数を示しましたが、昨年度より約80件減少しました。エに月別、病棟別TPN調製件数を示しました。TPNの調製については、昨年度より一般病棟における調製件数は約10件増加し、NICUの調製件数は約250件増加しました。オに化学療法調製件数を示しました。外来は昨年度より約130件増加し、入院は約320件減少しました。カに月別注射箋枚数を示しました。注射箋枚数は昨年度から、約13,000枚減少しました。

### ア 診療科別外来(院外・院内)処方・病棟別入院処方年間総処方箋枚数及び1日平均処方箋枚数

診療科	外来院外処方箋枚数		外来院内処方箋枚数		病棟	入院処方箋枚数	
	年間	1日平均	年間	1日平均		年間	1日平均
内科	52,658	215.8	6,417	17.5	8N	4,388	12.0
精神・神経科	15,308	62.7	487	1.3	8S	3,976	10.9
小児科	13,132	53.8	3,259	8.9	8W	802	2.2
外科	7,498	30.7	837	2.3	9N	4,643	12.7
心臓血管外科	909	3.7	5	0.0	9S	5,207	14.2
脳神経外科	1,301	5.3	138	0.4	9W	694	1.9
整形外科	11,725	48.1	1,148	3.1	10N	7,691	21.0
形成外科	767	3.1	121	0.3	10S	8,509	23.2
皮膚科	10,582	43.4	136	0.4	11N	7,450	20.4
泌尿器科	8,212	33.7	160	0.4	11S	7,648	20.9
産婦人科	6,180	25.3	107	0.3	12N	9,176	25.1
眼科	4,235	17.4	74	0.2	12S	9,768	26.7
耳鼻咽喉科	4,221	17.3	138	0.4	13N	10,710	29.3
放射線科	394	1.6	6	0.0	13S	10,846	29.6
リハビリテーション科	14	0.1	1	0.0	14N	9,939	27.2
口腔外科	3,990	16.4	43	0.1	14S	11,038	30.2
救命救急センター	778	3.2	1	0.0	ICU	1,378	3.8
					NICU	0	0.0
計	141,904	582	13,078	36	計	113,863	311

稼働日数 外来院外 244日 外来院内 366日 入院 366日

イ 令和元年度月間外来（院外・院内）処方箋枚数及び院外処方箋発行率

月別	外来処方箋枚数						院外処方箋発行率 <sup>(注2)</sup>			
	院外処方 箋枚数	院内処方箋枚数 <sup>(注1)</sup>				計	計	(I)	(II)	(III)
		(A)	(B)	(C)	計					
平成31年 4月	12,066	239	444	405	1,088	13,154	91.7%	94.6%	98.1%	
令和元年 5月	11,805	231	565	383	1,179	12,984	90.9%	93.7%	98.1%	
6月	11,470	241	479	376	1,096	12,566	91.3%	94.1%	97.9%	
7月	12,805	263	534	426	1,223	14,028	91.3%	94.1%	98.0%	
8月	11,823	239	553	409	1,201	13,024	90.8%	93.7%	98.0%	
9月	11,517	230	450	379	1,059	12,576	91.6%	94.4%	98.0%	
10月	12,219	278	487	427	1,192	13,411	91.1%	94.1%	97.8%	
11月	11,376	255	450	395	1,100	12,476	91.2%	94.2%	97.8%	
12月	12,697	237	639	383	1,259	13,956	91.0%	93.5%	98.2%	
令和2年 1月	12,137	252	711	441	1,404	13,541	89.6%	92.6%	98.0%	
2月	10,459	237	401	364	1,002	11,461	91.3%	94.3%	97.8%	
3月	11,530	260	287	408	955	12,485	92.4%	95.5%	97.8%	
計	141,904	2,962	6,000	4,796	13,758	155,662	91.2%	94.1%	98.0%	

(注1) (A) : 労災、自賠責扱い患者の処方、院内製剤、麻薬、治験を含む処方、特に必要と認めた患者の処方等

(B) : 救急外来処方（主に夜間）

(C) : 検査薬、糖尿病血糖測定紙、穿刺針、消毒綿、インスリン注入器等の処方

(注2) (I) : 院内処方せん枚数に (A)、(B)、(C) を含む

(II) : 院内処方せん枚数に (A)、(B) を含む

(III) : 院内処方せん枚数に (A) を含む

ウ 持参薬確認件数

月別 病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14N	5	5	4	4	5	2	4	3	3	2	4	3	44
14S	5	4	5	3	4	5	6	3	1	2	1	2	41
13N	40	35	43	38	30	35	28	38	35	30	21	27	400
13S	21	13	15	22	18	15	29	15	10	17	14	15	204
12N	81	113	114	135	104	103	113	119	98	125	95	123	1323
12S	31	33	29	35	33	27	23	29	26	25	19	28	338
11N	47	41	56	61	39	48	55	47	51	50	39	51	585
11S	47	40	39	51	42	52	60	41	52	68	60	49	601
10N	54	49	59	54	40	40	42	47	37	42	46	53	563
10S	59	49	56	74	48	67	71	59	63	59	47	64	716
9N	10	5	6	11	5	2	8	8	7	8	6	7	83
9S	1	0	4	2	0	0	2	1	1	7	1	1	20
8N	11	5	7	4	9	8	7	8	7	7	7	11	91
8S	4	2	0	2	4	2	0	1	0	1	3	5	24
ICU	1	0	1	0	2	1	1	0	1	3	1	0	11
合計	417	394	438	496	383	407	449	419	392	446	364	493	5,044

エ 令和元年度月別、病棟別TPN調製件数

月別 病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8S													
9N													
10N													
10S	11												11
11N	16	33		13		14	25	22		7	20	31	181
11S		13					48	37	27	17		9	151
12N				5	3	18		17				20	63
12S	14		6	41	2			12				27	102
13N		7	8		5		25	25	6	12	15	6	109
13S	10			2		1		18	21	23		3	78
14N	21	27	14		9		18	17	11	5	2	3	127
14S	1		1	15	8	2		9	28	10	8	17	99
ICU	1	10	8	2	24	8	3	12	3	8		15	94
TPN計	74	90	37	78	51	43	119	169	96	82	45	131	1015
NICU	48	21	39	50	63	101	95	65	38	45	31	70	666

オ 令和元年度月別、外来（診療科）・入院（診療科・臓器別）化学療法調製件数

月別 診療科 ・入院（臓器別）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	145	151	133	161	166	157	189	159	152	160	142	171	1,886
外科	106	119	115	116	117	82	99	90	79	87	94	99	1,203
脳神経外科	7	7	7	7	5	9	3	7	10	4	6	18	90
産婦人科	5	12	21	23	25	16	13	13	8	13	17	29	195
泌尿器科	25	23	20	24	22	21	24	22	19	22	21	26	267
耳鼻咽喉科	13	10	4	12	12	7	10	10	19	20	20	24	161
泌尿器科膀胱	1	0	3	5	0	0	0	0	1	1	0	0	11
エンドキサンパルス	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外来合計	302	322	303	349	347	292	338	301	288	307	300	367	3,816
造血器	23	23	21	19	22	14	32	27	15	25	15	28	264
肺	76	84	57	59	69	61	79	60	55	53	74	76	803
食道	9	12	20	22	5	16	18	11	22	22	19	20	196
胃	3	3	3	3	2	4	1	2	0	1	0	4	26
胆・膵	2	3	5	3	10	7	3	3	7	12	3	5	63
乳腺	0	1	0	0	0	2	0	0	1	1	2	2	9
大腸	1	3	3	0	3	4	10	4	2	3	1	0	34
脳外	1	2	0	2	2	5	7	7	8	11	6	7	58
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	13	7	9	9	16	8	8	7	10	11	14	12	124
泌尿器科	13	21	14	34	35	10	18	16	8	20	21	19	229
耳鼻科	21	36	24	17	24	22	33	30	16	24	26	5	278

歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エンドキサンノズル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
入院合計	163	197	156	168	188	153	209	167	144	183	181	180	2,089
総合計	465	519	459	517	535	445	547	468	432	490	481	547	5,905

カ 令和元年度月別注射箋枚数（入院）

月別	注射箋枚数
4月	12,302
5月	13,411
6月	13,404
7月	13,852
8月	13,619
9月	12,887
10月	13,197
11月	12,600
12月	13,008
1月	12,570
2月	12,069
3月	11,669
合計	154,588



(2) 薬剤管理指導業務

令和元年度は、指導患者数5,173人（前年比21.4%増）、算定件数8,272件（前年比38.0%増）となりました。算定件数増加の要因は病棟薬剤業務拡大（2病棟実施）による影響が大きいと考えられます。新たに病棟薬剤業務を開始した病棟において、主診療科である整形外科は前年比504.6%と大幅な増加となりました。また薬剤総合評価調整加算件数も増加しました。

診療科別・病棟別年間指導対象患者数及び薬剤管理指導件数（薬剤総合評価調整加算件数含む）

診療科	患者数	薬剤管理指導件数	病棟	患者数	薬剤管理指導件数	薬剤総合評価調整加算件数
内科	1,329	1,962	8N	24	26	0
精神・神経科	15	15	8S	16	16	0
小児科	6	6	9N	13	13	0
外科	373	448	9S	20	34	0
心臓血管外科	14	23	9W	0	0	0
脳神経外科	10	12	10N	1,043	2,024	0
整形外科	1,049	1,953	10S	400	520	0
形成外科	87	137	11N	186	220	0
皮膚科	105	146	11S	221	278	0
泌尿器科	959	1,465	12N	1,856	3,107	16
産婦人科	260	334	12S	236	324	0
眼科	256	303	13N	479	644	0
耳鼻咽喉科	528	1,182	13S	251	386	0
歯科口腔外科	94	111	14N	191	306	0
救急科	88	175	14S	235	372	0
			ICU	2	2	0
計	5,173	8,272	計	5,173	8,272	16

(3) 薬剤師外来業務

平成30年4月から泌尿器科及び整形外科において、手術及び検査のため入院予定となった患者様を対象に服用している薬剤の事前把握を主な目的とした薬剤師外来を開始しました。

泌尿器科は昨年度より26件減少しましたが、整形外科は30件増加しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
泌尿器科	39	54	55	44	50	53	53	54	50	47	39	43	581
整形外科	4	6	3	4	2	5	5	3	6	5	5	9	57
計	43	60	58	48	52	58	58	57	56	52	44	52	638

(4) 薬品管理業務

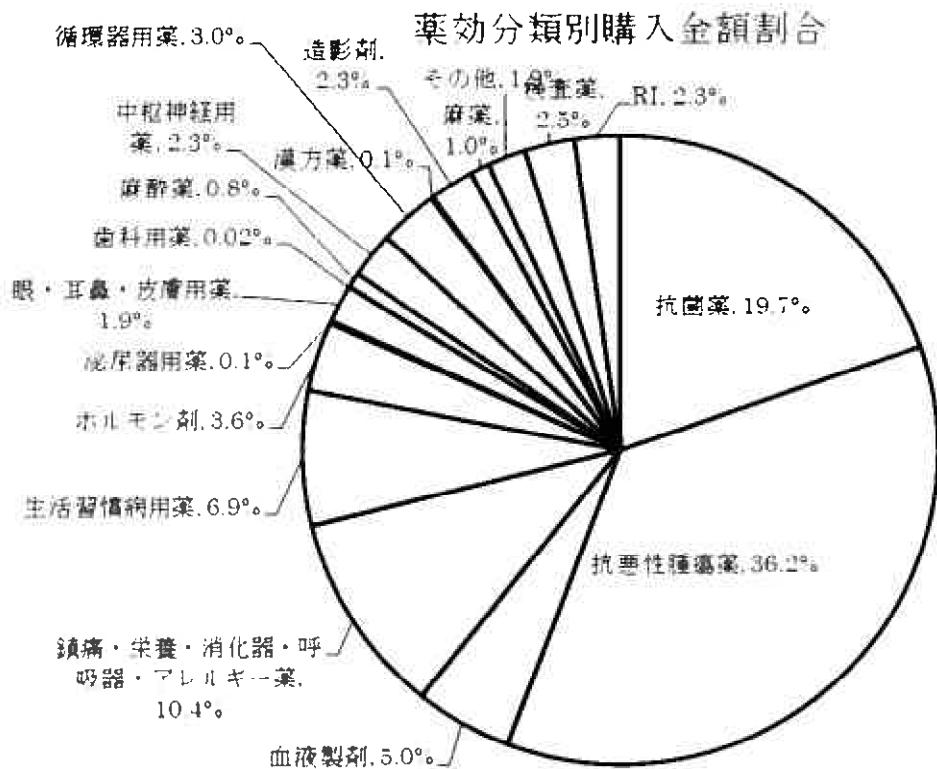
薬品購入金額は昨年度に比べ約2.8%、金額にして約6千8百円の増加となりました。先発医薬品から後発医薬品への変更による減額効果以上に、新規抗がん剤、放射性薬品、抗体製剤などの高額医薬品の購入費が増加しており、ここ数年増加の一途をたどっています。

〔薬品使用状況〕

ア 区分別使用割合

区 分	比 率 (%)	区 分	比 率 (%)
内 服 用 薬 品	16.32	そ の 他 薬 品	0.77
注 射 用 薬 品	72.92	麻 薬	0.98
外 用 薬 品	1.91	血 液	2.26
検 査 薬 品	2.54	放 射 性 薬 品	2.30

イ 薬効分類別購入金額割合



ウ 採用医薬品における後発医薬品の割合

令和2年3月における後発医薬品採用率及び使用率は、次のとおりでした。

採用薬品数	先発医薬品	後発医薬品	合計	後発医薬品 採用率 (品目シェア)
	960	476	1,436	33.15%
入院使用数量	後発あり先発 + 後発医薬品	後発医薬品	全医薬品	後発医薬品 使用率 (数量シェア)
	201,640	183,676	329,505	91.1%
外来使用数量	後発あり先発 + 後発医薬品	後発医薬品	全医薬品	後発医薬品 使用率 (数量シェア)
	18,821	16,671	49,870	88.6%

(5) 医薬品情報管理業務

日本病院薬剤師会への薬剤師介入事例報告（プレアボイド報告）は、昨年度の234件から305件に増加し高い報告数を維持しています。

令和元年度月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
プレアボイド報告 (様式1)				1									1
プレアボイド報告 (様式2)	13	18	29	20	20	18	27	65	20	11	3	7	251
プレアボイド報告 (様式3)	3	7	7	2	5	2	6	8	8	2	1	2	53

様式1：重篤化等回避報告  
 様式2：未然回避報告  
 様式3：薬物治療効果の向上

(6) 製剤業務

当院では、市販品又は同等の市販品への切替えを推進し、院内製剤品目は必要最小限としています。製剤総量は昨年度と同程度でした。

主な製剤総量(平成31年4月～令和2年3月)

薬品名	規格	数量	薬品名	規格	数量
3%亜硝酸ナトリウム注射剤	10mL	0	0.0005%SADBE アセトン	50mL	1
5%フェノール注射液	5mL	0	ZENTEL	30mL	4
6倍PAヨード洗顔液	50mL	434	2%グリセリンカリ石鹼浣腸	3000mL	0
塩酸エピネフリン0.03%	50mL	714	2.5%酢酸	100mL	35
滅菌エピネ・キシロ1:1	50mL	98	2.5%酢酸	500mL	56
滅菌オリブ油	20mL	88	30%酢酸	8000mL	21
滅菌グリセリン	30mL	13	3%硝酸銀液	10mL	4
脱気水	1000mL	111	20%硝酸銀液	20mL	6
滅菌ハイアミン0.025%	100mL	180	精製水	3000mL	34
滅菌ハイアミン0.01%	100mL	40	精製水	10000mL	18
滅菌ハイアミン0.01%	500mL	22	生理食塩水	10000mL	106
滅菌ピオクタニン2%	10mL	470	1%外用ピオクタニン	500mL	1
滅菌テーカイン液0.3%	50mL	20	皮膚インキ	120mL	0
滅菌テーカ・エピネ1:1	50mL	48	ポドフィリンチンキ	50mL	0
リファンピシン液0.2%	500mL	0	2%ホルマリンアルコール	500mL	3
1.2%口腔外科用ルゴール	100mL	27	5%内服用ルゴール	500mL	5
0.5%硫酸アトロピン点眼液	5mL	12	1%内服用ルゴール	100mL	8
0.25%硫酸アトロピン点眼液	5mL	4	1.2%ルゴール液	500mL	17
1%塩酸点眼液	5mL	0	0.8%ルゴール液	500mL	9
4%キシロカイン点眼液 分注	5mL	116	5%イオウ軟膏	100g	1
20%血清点眼液	5mL	18	水性ゲル	450mL	2
4倍希釈デスモプレシン点鼻液	4.8mL	0	5%チンクレストタミンクリーム	100g	6
ナシピン点鼻液 分注	10mL	20	2%ハイドロキノン	10g	40
プリピナ点鼻液 分注	10mL	3	5%ハイドロキノン	10g	53
ローズベンガル点眼1%	50mL	0	パッチテスト	5g	0
γ-BHC ローション	500mL	0	0.2%ポリミキシン軟膏	300g	14
2%SADBE アセトン	50mL	9	モース氏ペースト	100g	0
1%SADBE アセトン	50mL	7	0.1%レチノイン酸	10g	59
0.1%SADBE アセトン	50mL	5	0.2%レチノイン酸	10g	14
0.01%SADBE アセトン	50mL	4	チラーヂンS坐薬	個	30
0.001%SADBE アセトン	50mL	0	プラセボ坐剤	個	0

令和元年度年間製剤総数量

滅菌、無菌を要する製剤		滅菌を要しない製剤	
注射剤	0本	内・外用液剤	1,558L
点眼薬・点鼻薬等	173本	軟膏剤	7kg
その他	218L	坐薬	30個

(7) 薬学生実務実習受入状況

令和元年度の受入人数は、慶應義塾大学1名、帝京大学1名、星薬科大学1名の計3名でした。

## 18 放射線診断科・放射線治療科業務状況

令和元年度は、MRI 装置（1.5 テスラ）、パノラマ X 線撮影装置（CT 撮影機能あり）を更新しました。導入した新しい装置の優れた点を生かし、検査の質の向上を行い地域医療に貢献していきます。

X 線撮影と CT の件数については、昨年度との比較でほぼ横ばいとなっています。MRI の件数は、装置更新のため通常 2 台稼働のところ 1 台のみ稼働の時期がありやや少なくなりました。

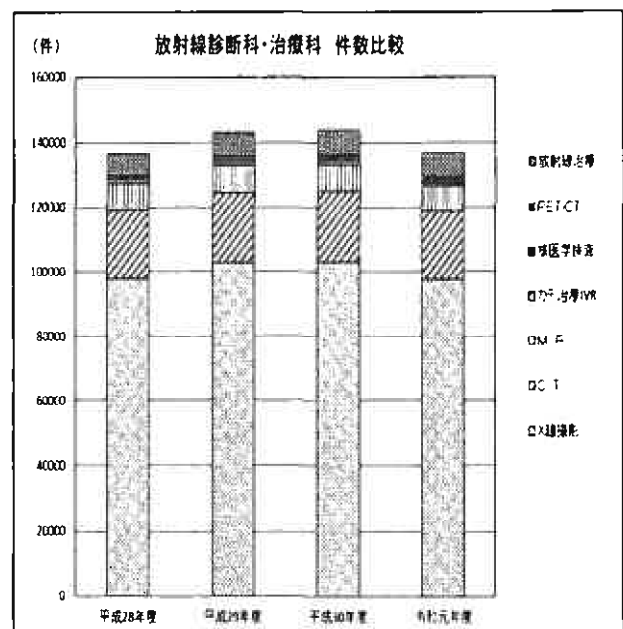
核医学検査については、昨年比で少なくなっていますが、PET-CT との合計では昨年と同等の件数となっています。

PET-CT については、2 年目という事で患者総合サポートセンターと連携して検査件数増を目指して取り組んできました。昨年度 590 件、今年度は 814 件となり、これまで依頼が無かった病院からの依頼も増えており、装置の有効利用を目指し、これまで以上に PET-CT 検査の情報発信と、依頼しやすい環境を作る努力をしていきます。

放射線治療の件数は、前年度比「1.00」と昨年とほぼ同数ですが、「リニアック特殊放射線治療」の件数では、昨年度 3,718 件に対し今年度は 4,913 件と増えており稼働額としては増となっています。現在の件数は、装置性能と稼働時間を考慮すると現状での最大であり、出来るだけ早い時期に最新の装置を導入し治療の質向上と件数増を考えています。

今年度の件数は、昨年と比較し全体にやや少なくなっていますが、年度末の新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものと考えます。

	件数				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比
X線撮影	97,818	102,862	103,105	97,428	0.94
C T	21,321	21,670	21,932	21,458	0.98
M R	8,070	8,226	8,098	7,554	0.93
カテーテル 治療・IVR	1,253	1,366	1,205	1,051	0.87
核医学検査	1,443	1,387	1,215	1,109	0.91
PET-CT			590	814	1.38
放射線治療	6,594	7,534	7,468	7,440	1.00
合計	136,499	143,045	143,613	136,854	0.95



## (1)撮影部門

検査種別	部位分類	集計区分	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科
一般 単純撮影	頭部・頸部系	単純	40	0	160	2	0	179	3	10
	胸部系	単純	17,513	138	1,432	6,044	991	243	1,201	92
	腹部系	単純	2,091	88	300	3,846	2	75	19	3
	椎体系	単純	269	4	144	30	0	23	5,466	0
	胸郭系	単純	104	1	5	5	0	1	1,914	0
	骨盤系	単純	57	1	0	10	0	0	3,806	0
	上肢系	単純	688	0	217	7	0	4	6,450	4
	下肢系	単純	1,005	0	24	25	0	0	5,372	10
	歯科	単純	0	0	0	0	0	0	1	0
その他	単純	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般単純撮影合計			21,767	232	2,282	9,969	993	525	24,232	119
ポータブル	頭・頸部系(P)	単純	0	0	0	0	0	1	0	0
	胸部系(P)	単純	5,332	87	843	1,335	65	295	128	0
	腹部系(P)	単純	882	47	13	945	0	58	57	0
	椎体系(P)	単純	5	0	0	2	0	2	8	0
	胸郭系(P)	単純	5	0	0	0	0	0	6	0
	骨盤系(P)	単純	9	0	0	1	0	0	23	0
	上肢系(P)	単純	5	0	36	0	0	0	5	0
	下肢系(P)	単純	20	4	1	7	0	0	71	0
	その他(P)	単純	0	0	0	0	0	0	0	0
ポータブル合計			6,258	138	893	2,290	65	356	298	0
手術室 ポータブル	頭部・頸部系(O)	単純	0	0	0	0	0	2	2	1
	胸部系(O)	単純	1	0	0	235	9	6	8	1
	腹部系(O)	単純	5	0	0	369	1	3	0	0
	椎体系(整形)(O)	単純	0	0	0	0	0	0	521	0
	軀幹系(整形)(O)	単純	0	0	0	0	0	0	387	0
	上肢系(整形)(O)	単純	0	0	0	0	0	0	283	0
	下肢系(整形)(O)	単純	0	0	1	0	0	0	334	0
手術室ポータブル合計			6	0	1	604	10	11	1,535	2
乳房撮影			0	0	0	659	0	0	0	0
一般造影	婦人科系	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	泌尿器科系	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	外科系	造影	0	0	0	1	0	0	0	0
	耳鼻科系	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	整形外科系	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
一般造影合計			0	0	0	1	0	0	0	0
透視検査	上部消化管	造影	2	0	3	57	0	0	0	0
	下部消化管	造影	13	0	0	27	0	0	0	0
	消化管その他	造影	53	0	0	197	0	0	0	0
	肝・胆道・膵臓	造影	38	0	0	25	0	0	0	0
	腎臓	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	尿管	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	膀胱、尿道、その他	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	婦人科	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	脊椎、椎体	造影	0	0	0	0	0	0	338	0
	整形系その他	造影	0	0	0	0	0	0	24	0
	小児科	造影	0	0	29	0	0	0	0	0
	その他	造影	53	0	1	45	0	4	0	0
透視検査合計			159	0	33	351	0	4	362	0
透視下 内視鏡	呼吸器系	単純	128	0	0	9	0	0	0	0
	上部消化管系	単純	11	0	0	6	0	0	0	0
	下部消化管系	単純	10	0	0	4	0	0	0	0
	肝臓・胆嚢・膵臓系	造影	207	0	0	38	0	0	0	0
透視下内視鏡合計			356	0	0	57	0	0	0	0
骨塩定量			102	0	16	132	0	1	569	0
結石破砕			2	0	0	0	0	0	0	0
救急室 単純撮影	頭部・頸部系(ER)	単純	38	0	12	0	0	7	2	0
	胸部系(ER)	単純	1,867	1	508	132	0	13	72	1
	腹部系(ER)	単純	861	1	188	104	0	2	4	0
	椎体系(ER)	単純	17	0	1	2	0	0	142	0
	胸郭系(ER)	単純	12	0	0	0	0	5	138	1
	骨盤系(ER)	単純	16	0	2	0	0	0	58	0
	上肢系(ER)	単純	11	0	2	1	0	3	472	3
下肢系(ER)	単純	27	0	4	2	0	3	334	10	
救急室単純撮影合計			2,849	2	717	241	0	33	1,222	15
合計			31,499	372	3,942	14,304	1,068	930	28,218	136

皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	齒科口腔外科	リハビリ	救急科	麻酔科	体検	合計(件数)
1	0	0	2	77	0	1,254	0	1	0	0	1,729
154	950	965	16	485	9	126	0	109	0	1,095	31,563
0	1,577	134	2	40	0	7	0	24	0	0	8,208
0	1	3	0	15	1	0	0	22	0	0	5,978
0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	2,041
0	1	99	0	1	0	0	0	11	0	0	3,986
2	0	0	2	0	0	0	0	14	0	0	7,388
8	2	0	0	0	1	0	0	25	0	0	6,472
0	0	0	0	3	14	1,261	0	1	0	0	1,280
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
165	2,531	1,201	22	621	25	2,648	0	218	0	1,095	68,645
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
37	144	167	0	83	1	2	0	530	47	0	9,096
0	102	40	0	17	0	0	0	87	3	0	2,251
1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	20
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	38
0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	48
0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	106
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40	246	207	0	100	1	2	0	627	50	0	11,571
0	0	0	0	22	0	4	0	0	0	0	31
0	9	5	0	21	1	0	0	0	9	0	305
0	225	437	0	18	1	0	0	2	2	0	1,063
0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	527
0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	392
0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	287
0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	338
0	234	442	0	61	2	4	0	19	12	0	2,943
0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	472	1,132
0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	9
0	0	0	0	14	8	0	441	0	0	63	588
0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	42
0	0	0	0	0	10	0	0	1	0	0	261
0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	80
0	115	0	0	0	28	0	0	0	0	0	143
0	2	0	0	0	24	0	0	0	0	0	26
0	110	0	0	0	8	0	0	2	0	0	120
0	0	8	0	0	3	0	0	0	0	0	11
0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	348
0	0	0	0	0	24	0	0	8	0	0	56
0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	32
0	1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	110
0	228	8	0	14	143	0	441	11	0	63	1,817
0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	141
0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	23
0	0	0	0	0	6	0	0	1	0	0	21
0	0	0	0	0	6	0	0	1	0	0	252
0	0	0	0	0	22	0	0	2	0	0	437
2	0	69	0	0	7	0	0	0	0	8	906
0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
0	0	0	0	2	0	0	0	25	0	0	86
3	11	34	0	26	1	0	0	2,690	3	0	5,362
1	23	10	0	5	1	0	0	280	0	0	1,480
0	0	0	0	0	0	0	0	181	0	0	343
0	0	0	0	3	1	0	0	255	0	0	415
0	0	0	0	0	0	0	0	373	0	0	449
0	0	0	0	3	0	0	0	365	3	0	863
0	0	0	0	0	0	0	0	571	2	0	953
4	34	44	0	39	3	0	0	4,740	8	0	9,951
211	3,288	1,979	22	835	204	2,654	441	5,617	70	1,638	97,428

(2) CT部門

Table with 11 columns: 部位分類, 撮影区分, 内科, 精神科, 小児科, 外科, 心臓血管外科, 脳神経外科, 整形外科, 形成外科, 皮膚科. Rows include 頭部系CT, 頸部系CT, 胸部系CT, 腹部系CT, 骨盤系CT, 四肢系CT, 背椎系CT, 血管系CT, その他CT, and 小計/合計.

救急室CT

Table with 11 columns: 部位分類, 撮影区分, 内科, 精神科, 小児科, 外科, 心臓血管外科, 脳神経外科, 整形外科, 形成外科, 皮膚科. Rows include 頭部系CT, 頸部系CT, 胸部系CT, 腹部系CT, 背椎系CT, 四肢系CT, 血管系CT, 全身系CT, and 小計/合計. Includes a summary row: C T+救急室CT.

(3) MRI部門

Table with 11 columns: 部位分類, 撮影区分, 内科, 精神科, 小児科, 外科, 心臓血管外科, 脳神経外科, 整形外科, 形成外科, 皮膚科. Rows include 頭部系, 頭部+頸部系, 胸部系, 腹部系, 背椎系, 上肢系, 下肢系, 背椎系, 血管系, and 小計/合計.



泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	手術科	体検	合計(件数)
9	1	17	142	10	68	0	524	0	80	3,178
3	0	0	19	0	0	0	6	0	0	33
1	0	2	7	0	1	0	9	0	0	43
1	0	0	45	0	0	0	7	0	1	67
1	0	0	119	0	1	0	22	0	0	164
1	0	0	54	1	1	0	5	0	0	73
225	37	0	65	117	0	0	15	0	15	3,112
469	300	0	231	9	2	0	3	0	3	2,889
153	25	0	71	14	0	0	1	0	2	1,013
140	9	0	0	37	0	0	0	0	3	378
38	7	0	0	5	0	0	1	0	4	267
121	9	1	3	15	0	0	0	0	6	915
2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	128
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9
4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
0	0	0	9	1	0	0	0	0	3	204
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	100
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
3	19	0	1	0	0	0	1	0	1	439
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	356
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
376	47	17	252	162	68	0	546	0	104	1,946
515	327	0	370	14	3	0	33	0	8	2,477
280	55	2	185	30	2	0	15	0	8	2,250
1,171	409	19	757	206	73	0	594	0	120	16,378

泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	手術科	体検	合計(件数)
1	0	1	6	0	1	0	1,949	2	0	2,961
0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
0	0	0	2	0	0	0	18	0	0	33
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
0	0	0	5	0	0	0	3	0	0	16
2	0	0	1	0	0	0	482	0	0	758
0	0	0	1	0	0	0	21	0	0	34
0	0	0	1	0	0	0	65	0	0	117
13	2	0	0	0	0	0	150	0	0	428
1	1	0	0	0	0	0	17	0	0	111
1	7	0	1	0	0	0	175	0	0	626
0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	23
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	1	0	0	0	144	0	0	219
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	5	0	0	0	0	0	43	0	0	87
0	0	0	0	0	0	0	87	0	0	126
0	0	0	0	0	0	0	425	0	0	462
0	0	0	0	0	0	0	158	0	0	162
0	0	0	0	0	0	0	83	0	0	117
16	2	1	10	0	1	0	3,188	1	0	4,574
2	6	0	2	0	0	0	240	0	0	404
3	7	0	7	0	0	0	404	0	0	1,004
22	15	1	19	0	1	0	3,632	1	0	6,282

泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	手術科	体検	合計(件数)
1193	424	20	776	206	74	0	4426	1	120	21458

泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	手術科	体検	合計(件数)
3	3	9	82	36	0	0	28	0	0	2,200
1	0	1	11	1	0	0	0	0	0	1,212
0	0	1	53	0	2	0	1	0	0	177
0	0	0	57	2	10	0	0	0	0	77
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	240
11	2	0	3	4	0	0	0	0	0	21
1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	142
139	409	0	0	25	0	0	1	0	0	619
56	105	0	0	1	0	0	0	0	0	184
0	0	0	0	33	0	0	0	0	0	122
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
0	0	0	0	24	0	0	1	0	0	355
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
1	1	0	3	80	0	0	37	0	0	1,419
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
157	115	16	141	218	2	0	118	0	0	5,834
21	135	1	72	17	10	0	0	0	0	1,168
218	520	17	213	235	12	0	118	0	0	7,554

## (4)核医学

	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	皮膚科	泌尿器科
脳	160	11	4	0	0	25	0	0	0	0
唾液腺	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甲状腺	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
副甲状腺	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
肺	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肝・胆道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脾臓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器	69	0	0	0	2	0	0	0	0	0
血流動態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎	1	0	14	0	0	0	0	0	0	5
副腎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
消化管	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
骨	354	0	0	175	0	1	2	0	0	141
腫瘍	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0
骨髄	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
リンパ	0	0	0	47	0	0	0	0	0	0
神経内分泌腫瘍	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RI内用療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
合計	622	11	22	223	2	26	2	0	0	171

## PET-CT

部位分類	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	皮膚科	泌尿器科
頭部-骨盤	182	0	0	213	0	1	1	0	3	3
全身	14	0	0	0	0	0	0	0	3	0
血管炎	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心サルコイドーシス	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自費検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
井田病院人間ドッグ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	201	0	0	213	0	1	1	0	6	3

## (5)カテーテル治療・IVR

		内科	外科	心外科	脳外科	放射線科	その他	合計
心臓系	心カテ	298	0	0	0	0	0	298
	PCI	186	0	0	0	0	0	186
	ペースメーカー	5	0	42	0	0	0	47
	その他	4	0	1	0	0	0	5
	心臓系 小計	493	0	43	0	0	0	536
頭頸部・一般血管	頭頸部血管診断				53			53
	頭頸部血管IVR				30			30
	頭頸部血管 小計	0	0	0	83	0	0	83
	胸腹部診断			0	0	12		12
	四肢・血管系診断		0	0	0	11		11
	一般血管診断 小計	0	0	0	0	23	0	23
	胸腹部IVR		0	0	0	100		100
	四肢・血管系IVR		236	0	0	3		239
	一般血管IVR 小計	0	236	0	0	103	0	339
	血管以外の検査・治療					37	0	37
その他		0		18	17	0	35	
血管造影室 合計	493	236	43	101	180	0	1,053	

## (6)画像データ・フィルム画像の入出力件数

	入出力デバイス名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比
入 力	フィルム	220	201	142	0.71
	CD(医事課)	4,494	4,674	5,008	1.07
	入力合計	4,714	4,875	5,150	1.06
出 力	フィルム	375	396	269	0.68
	CD-R	2,677	2,781	2,685	0.97
	DVD	578	621	626	1.01
	出力合計	3,630	3,798	3,580	0.94
総合計	8,344	8,673	8,730	1.01	

## (7)CT 画像処理件数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比
3D画像	1,446	1,575	1,455	0.92
心臓解析	162	169	166	0.98
デンタル解析	448	435	275	0.63
合計	2,056	2,179	1,896	0.87

産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	麻酔科	体検	合計(件数)
0	0	10	0	0	0	0	0	0	210
0	0	1	0	6	0	0	0	0	11
0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
0	0	3	0	0	0	0	0	0	6
0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	71
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
3	0	0	6	1	0	0	0	0	683
0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	47
0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
3	0	14	6	7	0	0	0	0	1,109

産婦人科	眼科	耳鼻科	歯科口腔外科	放射線科	リハビリ	救急科	麻酔科	体検	合計(件数)
31	0	92	1	122	0	0	0	0	649
0	0	1	0	128	0	0	0	0	146
0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
0	0	0	0	5	0	0	0	0	7
0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
0	0	0	0	6	0	0	0	0	6
31	0	93	1	256	0	0	0	0	814

(8) 放射線治療

リニアック部位件数

部位	件数
脳	611
眼窩	0
副鼻腔	77
口腔・舌	0
頸部	1,513
その他	40
肺	716
食道	327
乳房	1,205
腋青部	159
腋窩・胸壁	222
その他	13
縦隔	112
腹部	51
その他	0
全骨盤	216
小骨盤	1,241
鼠径・臀・外陰部	0
その他	32
上肢(軟部)	0
下肢(軟部)	0
その他	0
頭部骨	0
胸部骨	59
腰部・骨盤部骨	206
脊椎	484
上肢骨	0
下肢骨	70
その他	0
上肢関節	0
下肢関節	0
全身	0
リハ節	74
その他	10
合計	7,440

治療計画CT件数

		外来	入院	合計
頭部	単純	29	41	70
	造影	0	5	5
	単+造	5	6	11
頭部集計		34	52	86
副鼻腔	単+造	2	0	2
副鼻腔集計		2	0	2
頸部	単純	14	8	22
	造影	6	1	7
	単+造	12	8	20
頸部集計		32	17	49
肺・縦隔	単純	54	17	71
	造影	8	2	10
	単+造	1	0	1
肺・縦隔集計		63	19	82
乳房	単純	45	1	46
乳房集計		45	1	46
上腹部	単純	5	1	6
	単+造	0	1	1
上腹部集計		5	2	7
下腹部	単純	1	1	2
下腹部集計		1	1	2
骨盤部	単純	53	7	60
	単+造	3	2	5
骨盤部集計		56	9	65
股関節	単純	1	0	1
股関節集計		1	0	1
頸椎	単純	1	2	3
頸椎集計		1	2	3
胸椎	単純	7	6	13
胸椎集計		7	6	13
腰椎	単純	6	3	9
腰椎集計		6	3	9
下肢	単純	1	2	3
下肢集計		1	2	3
その他	単純	0	2	2
その他集計		0	2	2
小計	単純	217	91	308
	造影	14	8	22
	単+造	23	17	40
総合計		254	116	370

リニアック特殊放射線治療件数

区分	件数
強度変調放射線治療(MRT)	1,166
強度変調放射線治療(MRT)	1,123
画像誘導放射線治療(IGRT)	2,302
脳定位放射線治療	255
肺定位放射線治療	67
合計	4,913

放射線治療管理料件数

区分	件数
1門照射・対向2門照射	35
非対向2門・3門照射	29
4門照射以上	196
強度変調放射線治療(MRT)	69
放射線治療専任加算	273
合計	602

## (9) 使用造影剤

造影剤	規格	平成30年度	令和元年度	前年度比
ガストログラフィン	100ml	353	266	0.75
バリテスターA240散	350g	120	90	0.75
ホーステール	250ml	580	635	1.09
EOB・プリモピスト注シリンジ	10ml	110	105	0.95
イオパミロン注300	50ml	75	60	0.80
	100ml	105	72	0.69
イオパミロン注300シリンジ	50ml	25	20	0.80
	100ml	815	1,640	2.01
イオパミロン注370	20ml	290	255	0.88
	50ml	45	40	0.89
	100ml	552	435	0.79
イオパミロン注370シリンジ	100ml	570	795	1.39
イオメロン300注	50ml	340	325	0.96
	100ml	200	190	0.95
オイパロミン300注シリンジ	100ml	2,515	2,225	0.88
オイパロミン370注シリンジ	100ml	445	435	0.98
オムニパーク140注	50ml	40	35	0.88
オムニパーク300注	10ml	275	265	0.96
オムニパーク300注シリンジ	80ml	815	870	1.07
	100ml	3,476	2,375	0.68
	150ml	175	195	1.11
ウログラフィン注	20ml	874	984	1.13
バイステージ注370	50ml	70	80	1.14
	100ml	445	370	0.83
ガドピスト静注1.0ml/Lシリンジ	7.5ml	375	495	1.32
プロハンス静注シリンジ	13ml	515	493	0.96
マグネスコープ静注33%シリンジ	15ml	735	420	0.57
リピオドール480注	10ml	70	40	0.57
リゾピスト注 44.6mg Fe	1.6ml	0	1	
ガドテリドール静注シリンジ	13ml	0	120	
エネマスター注腸散	98.1%	0	40	
ネオダルムゾル	400ml	36	0	

## (10) 放射性医薬品

	平成30年度	令和元年度	前年度比
	入荷量(MBq)	入荷量(MBq)	
<sup>99m</sup> Mo- <sup>99m</sup> Tcジェネレータ	6650	0	
<sup>61</sup> Rb- <sup>81m</sup> Krジェネレータ	185	185	100.0
<sup>99m</sup> Tc-pertechnetate	30340.0	31080.0	102.4
<sup>99m</sup> Tc-HSA-D	0.0	0.0	
<sup>99m</sup> Tc-ECD	47400.0	34600.0	73.0
<sup>99m</sup> Tc-MAG <sub>3</sub>	1110.0	2442.0	220.0
<sup>99m</sup> Tc-MDP	515780.0	486180.0	94.3
<sup>99m</sup> Tc-HMDP	2960.0	19980.0	675.0
<sup>99m</sup> Tc-MIBI	2590.0	2220.0	85.7
<sup>99m</sup> Tc-tetrofosmin	109816.0	67340.0	61.3
<sup>201</sup> TlCl	1887.0	1591.0	84.3
<sup>67</sup> Ga-citrate	1998.0	888.0	44.4
<sup>123</sup> I-MIBG	2442.0	777.0	31.8
<sup>123</sup> I-BMIPP	333.0	111.0	33.3
<sup>123</sup> I-capsule	0.0	0.0	
<sup>123</sup> I-IMP	0.0	148.0	
<sup>123</sup> I-ioflupane	21209.0	21710.0	102.4
<sup>131</sup> I-adosterol	111.0	0.0	
<sup>111</sup> InCl	0.0	74.0	
<sup>111</sup> In-DTPA	518.0	407.0	78.6
<sup>111</sup> In-Pentetoreotide	366.0	854.0	233.3
<sup>223</sup> Ra-xofigo	55.4	147.8	266.7
<sup>18</sup> F-FDG	88652.0	125837.0	141.9

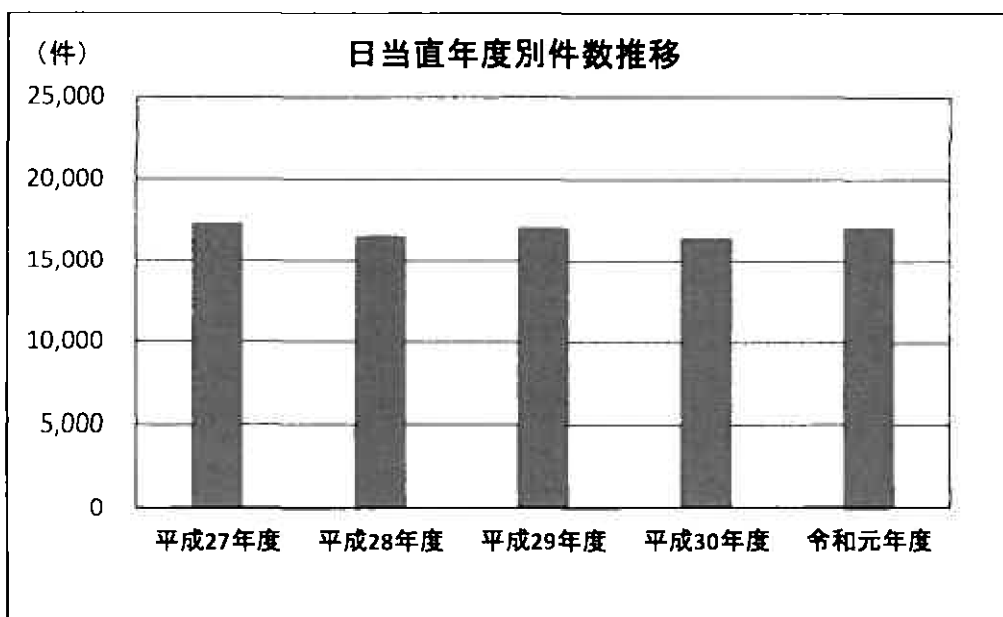
(11) 日当直状況

ア 月別日当直件数

令和元年度	令和元年度(件)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比
	当直	土日祝日勤	合計(件)	合計(件)	合計(件)	合計(件)	合計(件)	
4月	811	536	1,308	1,463	1,290	1,341	1,347	1.00
5月	957	699	1,991	1,463	1,624	1,440	1,656	1.15
6月	846	465	1,159	1,415	1,255	1,248	1,311	1.05
7月	948	465	1,286	1,427	1,602	1,491	1,413	0.95
8月	913	446	1,323	1,326	1,407	1,296	1,359	1.05
9月	904	477	1,547	1,284	1,449	1,364	1,381	1.01
10月	924	441	1,276	1,288	1,384	1,298	1,365	1.05
11月	884	491	1,472	1,437	1,359	1,250	1,375	1.10
12月	1,019	593	1,469	1,580	1,552	1,437	1,612	1.12
1月	956	722	1,465	1,554	1,715	1,775	1,678	0.95
2月	781	581	1,540	1,167	1,199	1,288	1,362	1.06
3月	795	438	1,475	1,177	1,220	1,235	1,233	1.00
合計	10,738	6,354	17,311	16,581	17,056	16,463	17,092	1.04
月平均	894.8	529.5	1,442.6	1,381.8	1,421.3	1,371.9	1,424.3	1.04
一日平均	29.3	50.4						

イ 日当直業務内容別件数

業務項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比
	合計件数	合計件数	合計件数	合計件数	合計件数	
1)単純撮影	8,120	8,250	8,334	7,604	7,771	1.02
2)回診撮影	3,763	2,957	3,286	3,780	3,855	1.02
3)透視撮影	153	164	131	124	192	1.55
4)カテ治療・IVR	196	188	200	177	145	0.82
5)CT検査	5,053	4,935	5,050	4,721	5,054	1.07
5)MR検査	26	87	55	57	75	1.32
	17,311	16,581	17,056	16,463	17,092	1.04



## 19 リハビリテーション科業務状況

リハビリテーション科において、令和元年度より新規に取り組みを行ったものについては、次のとおりです。

- 社会福祉法人川崎市川崎区社会福祉協議会主催の川崎区社協福祉祭りに参加し、市民のフレイル予防のための指導・運動実演を行いました。

川崎市立病院中期経営計画 2016-2020 に基づく取り組みについては、次のとおりです。

- 効率の良いリハビリテーション医療の提供のため、病棟でのリハビリテーションを段階的に拡大している。
- 令和元年度以降の療法士増員に伴う管理・指導体制の準備を継続している。

上記以外としては、栄養サポートチーム・緩和ケアチーム・脳卒中ユニット・呼吸器回診などの院内の他職種連携チームでの積極的な活動、糖尿病教室・がんサロン・市民公開講座等での市民への啓蒙活動などを以前と同様に行っています。

### (1) 令和元年度業務実績

- リハビリテーション科新規患者数および実施単位数

	患者数	単位数
脳血管疾患	587	24960
運動器疾患	823	18546
呼吸器疾患	371	6631
心大血管疾患	306	4914
廃用症候群	573	11945
がん	291	6470
合 計	2951	64929

### (2) リハビリテーション科担当 令和元年度検査数

- 筋電図（リハビリテーション科担当分） 109 件
- 嚥下造影 442 件
- 嚥下内視鏡 10 件
- ボツリヌス療法 34 件（患者数 12 名）

## 20 検査科業務状況

病理医の杉浦検査科部長の下、臨床検査技師22名（産休育休2名を含む）、非常勤職員1名、臨時的任用職員11名、ブランチ・ラボ（SRLに業務委託）で業務を行いました。

平成31年4月から採血室の開室時間を15分繰り上げ午前8時より採血業務を開始し、待ち時間の解消に努めました。また、令和2年3月より薬剤部で行っていたアルブミン製剤の管理を検査科にて開始、輸血管管理Ⅰ及び輸血適正使用加算の取得に向けて貢献しました。その他、感染対策チーム、栄養サポートチーム、糖尿病療養指導等のチーム医療への参加など、検査の質と患者サービスの向上に努めています。

### (1) 生理検査

項 目	平成30年度			令和元年度		
	外 来	入 院	総件数	外 来	入 院	総件数
心 電 図	15,745	3,161	18,906	14,501	2,661	17,162
C V R R	56	115	171	15	75	90
心室遅延電位	1	3	4	1	3	4
運動負荷	168	6	174	198	0	198
起立負荷	137	51	188	176	51	227
ホルター	265	23	288	310	16	326
トレッドミル	120	8	128	82	1	83
負荷心肺機能検査	0	17	17	3	21	24
A B I	999	182	1,181	971	178	1,149
S P P	28	15	43	27	19	46
T B I	21	16	37	22	13	35
一般肺機能（SVC）	1,763	363	2,126	1,746	267	2,013
一般肺機能（FVC）	1,763	363	2,126	1,746	267	2,013
機能的残気量	128	14	142	89	20	109
肺拡散能力	126	13	139	89	20	109
C・ポリウム	75	6	81	33	4	37
薬剤吸入試験	9	14	23	7	9	16
呼気NO測定	257	33	290	515	55	570
筋電図	300	28	328	292	31	323
神経伝導検査	2,136	530	2,666	1,780	481	2,261
脳波	679	375	1,054	633	390	1,023
脳波（眠剤使用）	9	100	109	9	128	137
A B R	19	33	52	13	22	35
V E P						
S E P						
V E M P						
新生児聴覚スクリーニング	10	733	743	4	738	742
心エコー	2,039	1046	3,085	2,116	1,008	3,124
経食道心エコー	5	10	15	1	7	8
腹部エコー	3,576	824	4,400	3,521	683	4,204
体表エコー	2,657	167	2,824	2,516	179	2,695
血管エコー	514	534	1,048	531	439	970
エコー下生検・穿刺	241	43	284	258	33	291
モニタリング	0	9	9	0	6	6
合 計	33,846	8,835	42,681	32,205	7,825	40,030

## (2) 病理検査部門

## ア 病理・細胞診検査

項 目	平成30年度			令和元年度		
	外来件数	入院件数	総件数	外来件数	入院件数	総件数
病理組織検査	3012	5393	8405	3077	5321	8398
病理術中迅速検査	3	265	268	1	279	280
免疫染色	375	927	1302	370	828	1198
特殊染色	168	738	806	95	670	765
電子顕微鏡検査	1	24	25	2	9	11
細胞診検査	7137	1726	8863	6675	1290	7965
細胞診術中迅速検査	0	25	25	0	45	45
病理解剖	5	8	13	5	14	19
合 計	11043	9574	20810	10225	8456	18681

※平成29年度から「免疫染色」「特殊染色」の件数に細胞診件数を追加しています。

## イ 剖検状況

科別剖検状況	平成30年度				令和元年度			
	実入院	死亡数	剖検数	剖検率	実入院	死亡数	剖検数	剖検率
内 科	5072	269	12	4.46	4360	252	18	7.14
神 経 科								
小 児 科	1616	2			1600	0		
外 科	1683	39			1774	41	1	2.44
脳 神 経 外 科	213	5			243	6		
整 形 外 科	1158	2			1197	5		
形 成 外 科	74	0			99	0		
心 臓 血 管 外 科	51	1			56	1		
皮 膚 科	166	1			191	1		
泌 尿 器 科	913	11			898	8		
産科・婦人科（死産児）	1914	6			1851	5		
眼 科	219	0			298	0		
耳 鼻 咽 喉 科	424	3			428	7		
リハビリテーション科	0	0			0	0		
放 射 線 科	0	0			0	0		
歯 科 口 腔 外 科	80	0			95	0		
救命救急センター	853	283	1	0.35	761	254		
感 染 内 科	0	0			0	0		
感 染 小 児 科	0	0			0	0		
精 神 科		0			172	1		
計	14624	622	13	2.09	14042	581	19	3.27

## ウ 臨床支援業務

項 目	平成30年度			令和元年度		
	外来件数	入院件数	総件数	外来件数	入院件数	総件数
産科エコー（胎児計測）	2569		2569	2455		2455



## (3) 細菌検査

項目	年度	平成30年度			令和元年度		
		外来	入院	合計	外来	入院	合計
塗抹鏡検		3,692	3,849	7,541	3,184	3,335	6,519
培養同定	口腔・呼吸器	1,906	2,000	3,906	1,648	1,689	3,337
	消化器	363	969	1,332	373	1,100	1,473
	泌尿器・生殖器	2,377	1,059	3,436	2,263	912	3,175
	血液・穿刺液	4,407	4,216	8,623	3,975	3,524	7,499
	その他	474	629	1,103	478	653	1,131
嫌気性培養		11,185	5,548	11,185	5,132	4,557	9,689
薬剤感受性	1菌種	1,971	1,361	3,332	1,695	1,138	2,833
	2菌種	516	387	903	514	333	847
	3菌種以上	159	162	321	181	144	325
大腸菌抗原		379	213	166	274	199	473
大腸菌ベロトキシン		1	1	2	3	0	3
肺炎球菌抗原		1	1	2	0	0	0
ヘモフィルス抗原		0	0	0	0	0	0
カンジダ		0	0	0	0	0	0
トリコモナス		1	0	1	3	0	3
クラミジア		2	0	2	2	0	2
LAMP法		63	136	199	39	67	106
合計		21,783	20,484	42,267	19,764	17,651	37,415

## (4) 血液センター

## ア 検査件数

	平成30年度			令和元年度		
	外来	入院	合計	外来	入院	合計
血液型ABO式及びRh式	6,954	877	7,831	6,444	864	7,308
抗体スクリーニング検査 含む抗D <sub>i</sub> a抗体検査	5,496	605	6,101	5,083	609	5,692
ABO式亜型の同定	2	1	3	1	0	1
その他の血液型検査	3	0	3	0	1	1
抗体価	32	3	35	45	10	55
交差試験	623	1,889	2,512	610	2,004	2,614
直接クームス	95	329	424	81	340	421
間接クームス	32	41	73	34	29	63
出血時間	5	1	6	10	0	10
合計	13,242	3,746	16,988	12,308	3,857	16,165

イ 血液使用数量

製 劑		単位	平成 30 年 度			令和元年度			
			外 来	入 院	合 計	外 来	入 院	合 計	
自	己	血	1	0	5	5	0	6	6
			2	0	64	64	0	70	70
成 分 製 劑	赤血球 製劑	R B C - L R	1	0	5	5	0	0	0
			2	471	1199	1670	138	464	602
		日赤照射 R B C - L R	1	0	7	7	0	8	8
			2	4	29	33	300	850	1,150
		合 計	1	0	12	12	0	8	8
			2	475	1228	1703	438	1,314	1,752
	新 鮮 凍 結 血 漿	F F P - L R	120ml	0	0	0	0	2	2
			240ml	111	309	420	69	366	435
			480ml	0	41	41	0	27	27
	濃 厚 血 小 板	P C - L R	1	0	0	0	0	0	0
			5	0	0	0	0	0	0
			10	19	50	69	4	4	8
			15	0	0	0	0	0	0
			20	22	8	30	0	0	0
		日赤照射 P C - L R	1	0	0	0	0	0	0
			5	0	5	5	0	7	7
			10	17	143	160	49	125	174
			15	0	0	0	0	1	1
P C - H L A - L R		20	2	26	28	1	6	7	
		10	0	0	0	0	0	0	
		15	0	0	0	0	0	0	
		20	0	0	0	0	0		

\*令和元年7月末で血液照射装置の使用中止、日赤照射血の使用開始

ウ 自己血貯血

		単位	平成 30 年 度			令和元年度		
			外 来	入 院	合 計	外 来	入 院	合 計
液 状 保 存	1	12	0	12	10	0	10	
	2	134	1	135	144	2	146	
合 計		146	1	147	154	2	156	

\*単位1は200ml、単位2は400ml

## (5) 院内委託検査

検査項目	平成30年度			令和元年度		
	外来	入院	総件数	外来	入院	総件数
(尿検査)						
尿定性	47,139	10,271	57,410	36,306	18,011	54,317
尿沈渣	26,075	6,946	33,021	23,334	7,119	30,453
尿定量検査	3,799	2,018	5,817	2,796	2,354	5,150
髄液検査	711	1,521	2,232	610	1,676	2,286
穿刺液検査	220	704	924	205	576	781
小計	77,944	21,460	99,404	63,251	29,736	92,987
(血液検査)						
血算	78,310	48,313	126,623	90,677	29,511	120,188
血液像	57,532	36,602	94,134	54,596	36,676	91,272
網状赤血球	7,742	8,636	16,378	4,837	9,549	14,386
浸透圧	585	1,670	2,255	594	1,073	1,667
血液ガス	1,522	2,290	3,812	2,736	1,290	4,026
赤沈	7,858	1,035	8,893	8,315	0	8,315
HbA1c	23,095	2,012	25,107	19,332	3,897	23,229
凝固関連検査	61,178	42,067	103,245	47,869	46,514	94,383
その他	9	1	10	8	1	9
小計	237,831	142,626	380,457	228,964	128,511	357,475
(血清検査)						
感染症関連検査	56,408	5,351	61,759	48,318	10,323	58,641
薬物関連検査	1,919	921	2,840	1,822	789	2,611
腫瘍関連検査	25,697	2,173	27,870	16,628	10,833	27,461
自己抗体検査	5,360	114	5,474	5,354	0	5,354
血漿蛋白免疫学的検査	73,060	45,724	118,784	79,455	35,640	115,095
小計	162,444	54,283	216,727	151,577	57,585	209,162
(生化学検査)						
血液化学検査	1,378,702	788,516	2,167,218	1,055,276	976,444	2,031,720
内分泌学的検査	30,745	5,888	36,633	23,046	8,848	31,894
小計	1,409,447	794,404	2,203,851	1,078,322	985,292	2,063,614
合計	1,887,666	1,012,773	2,900,439	1,522,114	1,201,124	2,723,238

## (6) 院外外注検査

検査項目	平成30年度			令和元年度		
	外来	入院	総件数	外来	入院	総件数
(尿・糞便等検査)						
尿検査・他	509	353	862	366	381	747
糞便検査	2,780	678	3,458	14	3,169	3,183
穿刺液・採取液検査	13	81	94	9	80	89
悪性腫瘍組織検査	143	84	227	117	44	161
小計	3,445	1,196	4,641	506	3,674	4,180
(血液学的検査)						
血液形態・機能検査	0	0	0	0	0	0
骨髓像	91	69	160	56	53	109
造血器腫瘍細胞抗原検査	75	68	143	141	99	240
出血・凝固検査	171	201	372	163	102	265
造血器腫瘍遺伝子・染色体検査	170	101	271	198	132	330
遺伝学的検査	1	0	1	25	1	26
先天異常染色体検査	28	8	36	18	18	36
遺伝学的検査 (PGx)	12	8	20	26	19	45
悪性腫瘍遺伝子検査	22	10	32	41	25	66
小計	570	465	1,035	668	449	1,117
(生化学的検査)						
血液化学検査	11,917	3,912	15,829	10,970	4,577	15,547
内分泌学的検査	6,536	2,978	9,514	7,885	1,943	9,828
腫瘍マーカー	15,061	2,004	17,065	14,275	1,264	15,539
特殊分析	872	376	1,248	1,094	291	1,385
小計	34,386	9,270	43,656	34,224	8,075	42,299
(免疫学的検査)						
免疫血液学的検査	42	32	74	49	22	71
感染症・ウイルス検査	13,227	4,205	17,432	10,687	3,703	14,390
自己抗体検査	17,356	4,271	21,627	17,147	2,636	19,783
血漿蛋白免疫学的検査	13,868	2,502	16,370	11,932	2,253	14,185
細胞機能検査	1,254	86	1,340	1,380	103	1,483
小計	45,747	11,096	56,843	41,195	8,717	49,912
(微生物学的検査)						
塗抹・培養・感受性検査	2,585	4,046	6,631	1,975	3,022	4,997
核酸同定・定量検査	4,299	1,465	5,764	3,963	912	4,875
その他微生物学的検査	442	3	445	405	0	405
小計	7,326	5,514	12,840	6,343	3,934	10,277
(病理診断)						
悪性腫瘍免疫染色・FISH法検査	318	181	499	288	100	388
小計	318	181	499	288	100	388

(保険収載外検査)						
血中薬物濃度	1,727	288	2,015	1,608	468	2,076
腫瘍マーカー	155	1	156	163	0	163
その他検査	289	27	316	276	37	313
小計	2,171	316	2,487	2,047	505	2,552
(負荷試験等)						
機能テスト	33	17	50	42	24	66
小計	33	17	50	42	24	66
合 計	93,996	28,055	122,051	85,313	25,478	110,791

(7) 採血件数

	平成30年度		令和元年度	
	件数	日平均	件数	日平均
採血件数	68,451	281.0	66,039	275.5

(8) 宿日直検査

項目	平成30年度		令和元年度	
	件数	月平均	件数	月平均
血液型検査	1,646	137.1	1,516	126.3
交差適合試験	965	80.4	1,034	86.2
血液製剤払い出し	629	52.4	667	55.6
心電図検査	4,408	367.3	3,971	330.9
合 計	7,648	637.3	7,188	599.0

各種認定資格取得状況

日本超音波医学会認定超音波技師：循環器3名、消化器3名、体表臓器3名

日本リウマチ学会登録ソノグラファー：2名、血管診療技師認定機構認定 血管診療技師：1名

日本糖尿病療養指導士：3名、日本臨床細胞学会認定細胞検査士：3名（国際細胞検査士3名）

日本臨床衛生検査技師会病理検査技師1名、日本輸血・細胞治療学会認定輸血検査技師：2名

## 21 給食業務状況

令和元年度は、嗜好調査の意見を参考に委託業者と連携しながら、メニュー改善に努めました。また、災害備蓄食品のメニューの見直しも合わせて行いました。

市民、患者向けの栄養に関する情報発信として、栄養だよりを作成・ダイルームへ掲示、市民公開講座の講師を務めました。

### (1) 年度別給食状況

年 度	一 般 食				特別食	計	1回の食数	特別食比率%
	常食	軟食	流動食	計				
平成27年度	189,566	92,045	56,284	337,895	126,162	464,057	424	27.2
平成28年度	192,865	96,665	45,708	335,238	112,724	447,962	409	25.2
平成29年度	186,206	103,025	49,378	338,609	131,189	469,798	429	27.9
平成30年度	189,330	86,774	45,347	321,597	127,594	449,045	410	28.4
令和元年度	184,698	81,839	46,178	312,715	110,888	423,603	387	26.2

### (2) 食種別給食数

総数 423,603食 100%

一般食	312,715食	73.8%	— 常食	184,698食
			— 軟食	46,287食
			— 嚥下調整食	35,552食
			— 流動食	5,332食
			— 調乳	14,113食
			— 濃厚流動食	26,733食

特別食	110,888食	26.2%	— 蛋白コントロール食	36,064食
			— 脂質コントロール食	8,023食
			— カロリーコントロール食	53,840食
			— 術後・潰瘍食	10,077食
			— 調乳(HMS-2)	2,087食
			— 大腸検査食	797食

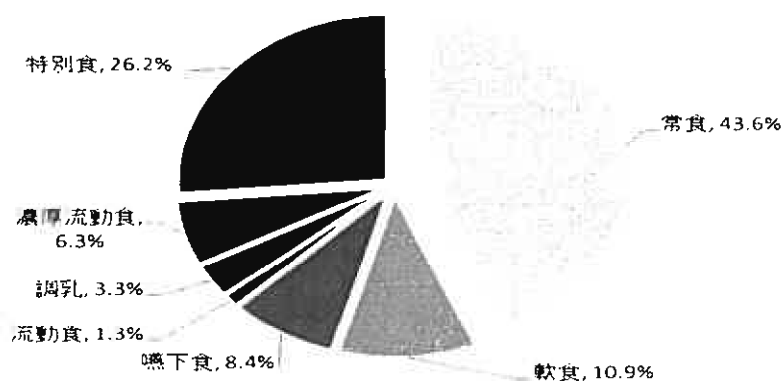
なごみ食 7,345食(常食として計上)

フリーオーダー食 1,539食(常食として計上)

定型除去食 88食(軟食として計上)

検食 4,380食(常食として計上)

食種別比率



(3) 月別給食数 (令和元年度)

月別	一般食				特別食	計	1回の食数
	常食	軟食	流動食	計			
4月	14,748	6,726	3,445	24,919	9,472	34,391	382
5月	14,530	6,955	3,735	25,220	8,515	33,735	363
6月	14,827	6,864	3,325	25,016	9,569	34,585	384
7月	15,474	6,225	4,261	25,960	11,029	36,989	398
8月	16,029	6,617	4,462	27,108	10,016	37,124	399
9月	15,076	6,550	3,477	25,103	9,799	34,902	388
10月	17,593	7,254	3,872	28,719	9,480	38,199	411
11月	15,859	6,929	3,611	26,399	9,046	35,445	394
12月	14,841	6,608	3,807	25,256	9,419	34,675	373
1月	14,871	7,713	4,058	26,642	8,470	35,112	378
2月	15,286	7,011	4,561	26,858	7,525	34,383	409
3月	15,564	6,387	3,564	25,515	8,548	34,063	366
計	<b>184,698</b>	<b>81,839</b>	<b>46,178</b>	<b>312,715</b>	<b>110,888</b>	<b>423,603</b>	<b>387</b>

(4) 嚥下調整食数

嚥下調整食は、全食数の8.4%を占め、年々増加傾向にあります。また、平成31年2月以降の改定後は、喫食率も上がっており、栄養サポートチームと共に、経口摂取をめざし、早期介入を行っています。

年度	30年度2月以前	ゼリー開始食	ミキサー	細きざみ	きざみ	軟菜食 I	軟菜食 II	計
	30年度2月以降		とろみペースト	とろみきざみ		とろみやわらか	やわらか	
平成27年度		1,730	13,404	5,927	8,074	7,738	1,991	38,864
平成28年度		1,235	8,565	5,896	6,683	6,227	3,915	32,521
平成29年度		981	9,831	9,649	7,455	7,460	2,629	38,005
平成30年度2月以前		685	8,571	4,368	4,721	5,302	1,457	30,940
平成30年度2月以降			1,072		1,488	1,002	2,301	
令和元年度		686	8,333		9,264	5,543	11,726	35,552

## 22 栄養指導・NST業務状況

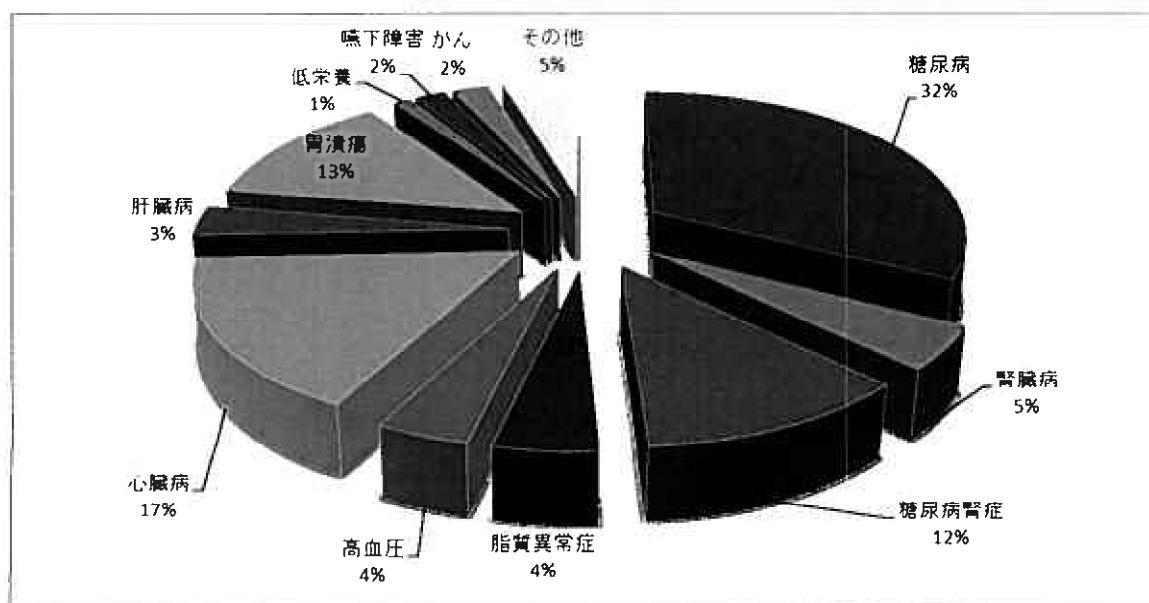
### (1) 栄養指導状況

個別指導件数に占める入院個別指導の割合が増えています。透析予防の件数は、やや減っています。疾患別では糖尿病、糖尿病腎症合わせて44%と糖尿病関連の指導が半数近くを占めています。心臓カテーテル入院でのクリニカルパス指導件数が17%と次いで多くの割合をしめています。

		個別指導		集団指導				
		個別指導	透析予防指導	糖尿病教室		母親教室	イベント	
				基礎	応用			
回数	総数	2248	300	10	9	12	4	
	月平均	187.3	25.0	0.8	0.8	1.0		
人数	総数	2248	300	82	64	184	182	
	月平均	187.3	25.0	6.8	5.3	15.3		
内 訳	総数	外来	813	300	21	17	184	川崎市糖尿病市民公開講座56名 看護の日7名
		入院	1435		62	47	0	
		家族他	584	83	12	17	0	
	月平均	外来	67.8	25.0	1.75	1.4	15.3	神奈川県糖尿病公開講座42名
		入院	119.6		5.2	3.9	0	
		家族他	48.7	6.9	1.0	1.4	0	
時間	総時間	1124	150	10	9	12	川崎病院糖尿病市民公開講座77名	
	1回	30分	30分	1時間	1時間	1時間		

個別栄養指導(疾患別件数)

糖尿病	腎臓病	糖尿病腎症	脂質異常症	高血圧	心臓病	肝臓病	胃潰瘍	低栄養	嚥下障害	がん	その他
829	123	300	115	102	427	83	322	27	47	57	116





(2) NST回診状況

NST（栄養サポートチーム）は食事だけでなく、経管栄養、静脈栄養など総合的かつ専門的な栄養管理を目指し、医師、看護師、薬剤師、栄養士、検査技師、言語聴覚士など、多職種が連携して活動を行っています。平成22年の診療報酬改定にて、栄養サポートチーム加算（200点／週／人）が新設され、平成23年3月から施設基準を満たし算定を行っています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 (人)
平成27年度	162	140	144	163	126	142	138	127	114	125	135	151	1,667
平成28年度	125	119	138	128	196	136	128	162	164	185	172	156	1,809
平成29年度	126	200	192	165	199	172	223	159	174	162	137	152	2,061
平成30年度	176	179	142	224	191	185	200	153	156	156	155	147	2,064
令和元年度	137	150	152	173	161	150	142	126	129	154	146	160	1,780

※回診回数：週2回

〔介入状況〕

NST加算算定開始後は嚥下障害や食種・補助食の相談を中心に介入患者数を増やしてきました。嚥下障害による介入依頼が半数以上を占めています。ICUからの栄養経路、輸液内容についての介入依頼も増加してきています。介入終了理由については退院・転院が半数を占めています。

	経管栄養 (下痢含む)	褥瘡 /CONUT	嚥下障害	食種・ 補助食	輸液	栄養判定 ・栄養経路	その他	合計 (人)
平成27年度	66 (14.9%)	1 (0.2%)	269 (60.7%)	84 (19.0%)	20 (4.5%)		3 (0.7%)	443
平成28年度	56 (11.4%)	5 (1.0%)	283 (57.7%)	82 (16.7%)	23 (4.7%)	7 (1.4%)	35 (7.1%)	491
平成29年度	49 (8.6%)	0/9 (1.6%)	335 (58.7%)	130 (22.8%)	37 (6.5%)	9 (1.6%)	1 (0.2%)	570
平成30年度	64 (10.3%)	1/54 (8.9%)	297 (48.0%)	128 (20.6%)	50 (8.0%)	23 (3.7%)	3 (0.5%)	620
令和元年度	45 (8.9%)	1/12 (2.6%)	303 (60.0%)	87 (17.2%)	36 (7.1%)	20 (4.0%)	1 (0.2%)	505

	退院	転院	改善	不変	死亡	悪化 (ターミナルなど)	合計 (人)
平成27年度	98 (20.7%)	53 (11.2%)	235 (49.7%)	41 (8.7%)	22 (4.7%)	24 (5.1%)	473
平成28年度	156 (32.5%)	81 (16.9%)	178 (37.1%)	15 (3.1%)	37 (7.7%)	13 (2.7%)	480
平成29年度	185 (32.6%)	99 (17.4%)	199 (35.0%)	15 (2.6%)	30 (5.3%)	40 (7.1%)	568
平成30年度	161 (25.9%)	84 (13.5%)	269 (43.2%)	24 (3.9%)	45 (7.2%)	39 (6.3%)	622
令和元年度	174 (34.3%)	72 (14.2%)	171 (33.7%)	21 (4.1%)	33 (6.5%)	37 (7.3%)	508

〔入院期間と介入期間〕

病院全体として入院期間短縮に取り組む中で、NST介入者の入院期間と介入期間は下表のとおりです。介入者の高齢化が進む中、入院期間が短くなるような介入を目指しています。令和元年度の介入患者は、入院期間が短縮しました。

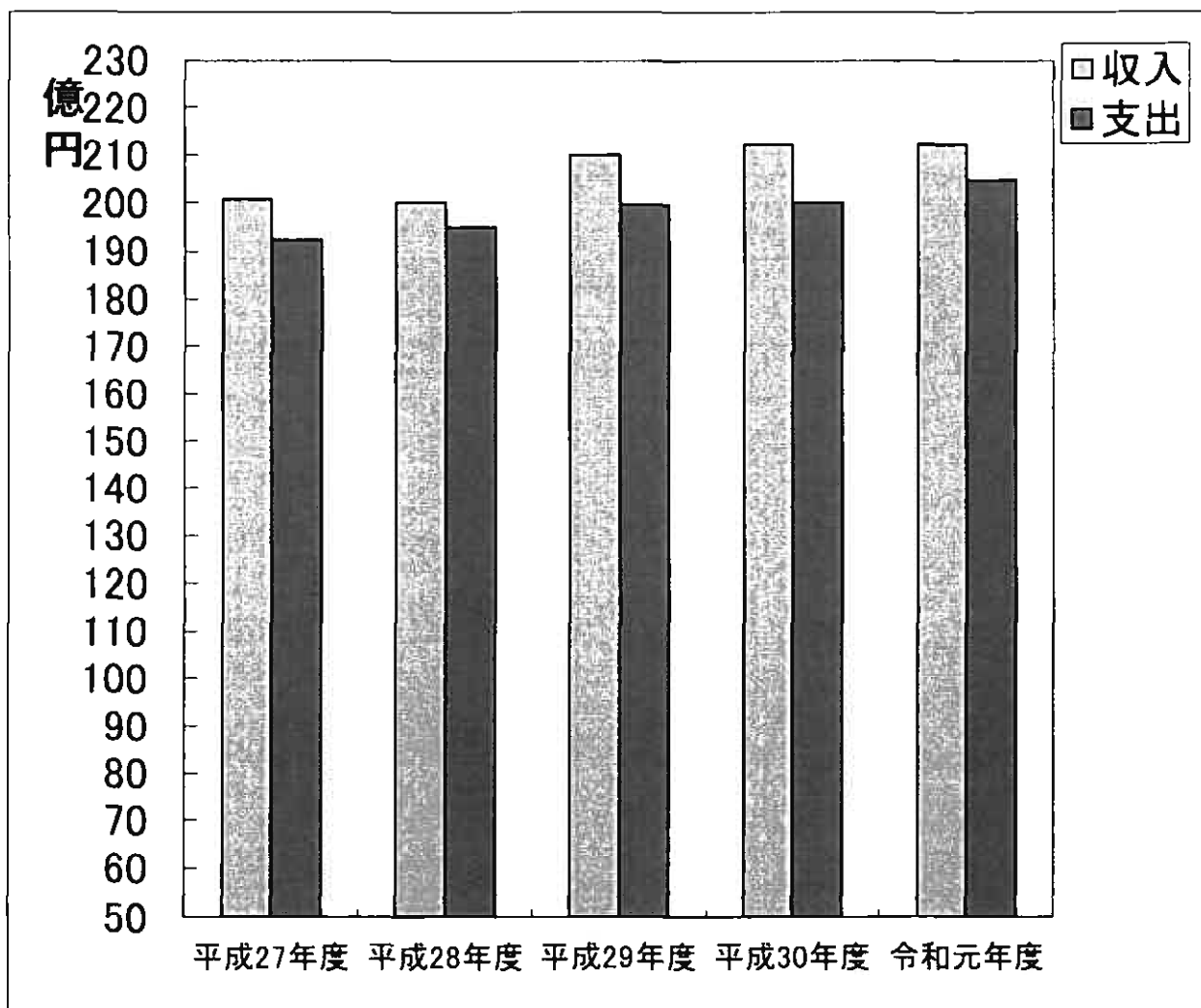
	年齢（歳）	入院期間（日）	介入期間（日）
平成27年度	75.0	54.8	14.3
平成28年度	73.7	50.0	21.7
平成29年度	76.1	46.3	21.2
平成30年度	75.0	44.9	17.9
令和元年度	76.4	44.5	19.2

## IV 經 理 概 要

### 1 年度別経営収支状況

(単位：千円)

年 度	収 入		支 出		損 益
	決 算 額	指 数	決 算 額	指 数	
平成27年度	20,102,156	100	19,246,546	100	855,610
平成28年度	20,018,915	100	19,508,441	101	510,474
平成29年度	21,009,247	106	19,958,891	104	1,050,356
平成30年度	21,209,206	106	20,019,365	104	1,189,841
令和元年度	21,210,738	106	20,485,116	106	725,622



## 2 収入・支出状況

### (1) 収益的収入及び支出

収 入

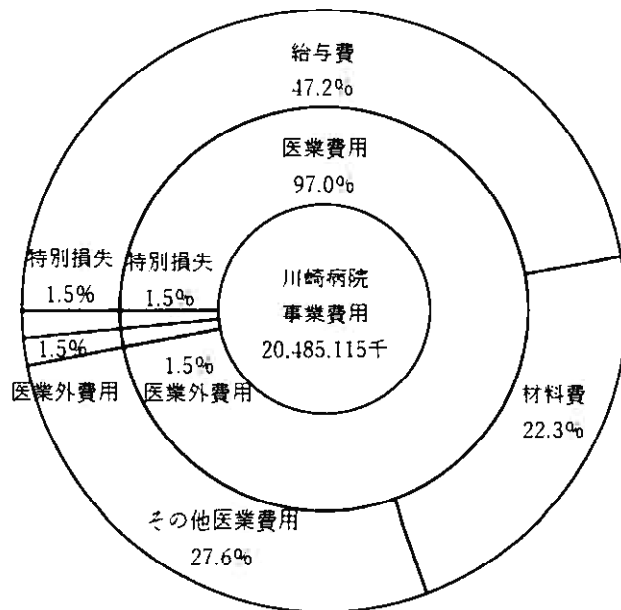
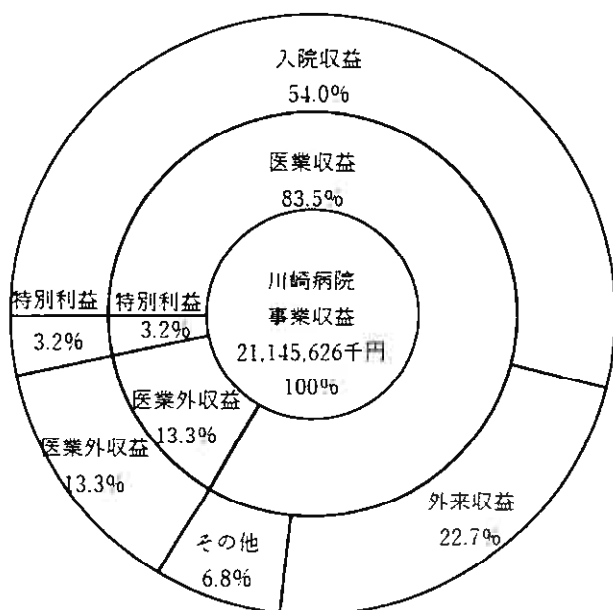
(単位：千円)

科 目	平成30年度		令和元年度	
	決算額	構成比率 (%)	決算額	構成比率 (%)
川崎病院事業収益	21,209,206	100.0	21,145,626	100.0
医業収益	17,652,874	83.2	17,649,313	83.5
入院収益	11,691,658	55.1	11,421,389	54.0
外来収益	4,612,851	21.7	4,792,000	22.7
その他	1,348,365	6.4	1,435,924	6.8
医業外収益	2,881,948	13.6	2,821,929	13.3
受取利息配当金	16	0.0	14	0.0
補助金	44,876	0.2	48,020	0.2
負担金交付金	1,990,144	9.4	1,903,096	9.0
長期前受金戻入	353,624	1.7	355,324	1.7
資本費繰入収益	252,279	1.2	281,312	1.3
その他	241,009	1.1	234,163	1.1
特別利益	674,384	3.2	739,496	3.5

支 出

(単位：千円)

科 目	平成30年度		令和元年度	
	決算額	構成比率 (%)	決算額	構成比率 (%)
川崎病院事業費用	20,019,365	100.0	20,485,115	100.0
医業費用	18,985,605	94.8	19,879,027	97.0
給与費	9,488,842	47.4	9,667,191	47.2
材料費	4,113,317	20.5	4,561,774	22.3
経 費	4,162,743	20.8	4,409,026	21.5
減価償却費	1,138,919	5.7	1,139,510	5.6
資産減耗費	9,291	0.0	28,776	0.1
研究研修費	72,493	0.4	72,750	0.4
医業外費用	889,953	4.4	300,012	1.5
特別損失	143,807	0.7	306,076	1.5



## (2) 資本的收入及び支出

収 入

(単位：千円)

科 目	平成 30 年 度		令和元 年 度	
	決算額	構成比率 (%)	決算額	構成比率 (%)
川崎病院事業資本的收入	1,379,943	100.0	1,471,761	100.0
企 業 債	362,240	26.3	433,171	29.4
出 資 金	0	0.0	0	0.0
固定資産売却代金	0	0.0	0	0.0
補 助 金	0	0.0	0	0.0
負 担 金	1,017,703	73.7	1,035,180	70.3

支 出

(単位：千円)

科 目	平成 30 年 度		令和元 年 度	
	決算額	構成比率 (%)	決算額	構成比率 (%)
川崎病院事業資本の支出	2,469,553	100.0	2,664,041	100.0
建 設 改 良 費	460,932	18.7	570,577	21.4
企 業 債 償 還 金	2,008,621	81.3	2,093,464	78.6
長期借入金償還金	0	0.0	0	0.0

### 3 年度別一般会計繰入金及び出資金

(単位：千円)

種 別	年 度			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収益的収入 他会計負担金、他会計補助金、 負担金交付金、資本費繰入収益	3,139,215	3,225,129	3,327,124	3,326,202
資本的収入 (出資金)	0	0	0	0

### 4 比較貸借対照表

(単位：千円)

科 目	平成30年度 決算額	令和元年度 決算額	増 減	前年度比 (%)	構成比率 (%)	
					平成 30年度	令和 元年度
固定資産	15,872,499	15,276,887	△ 595,612	96.2	72.7	76.5
有形固定資産	15,872,499	15,276,887	△ 595,612	96.2	72.7	76.5
土地	426,224	426,224	0	100.0	2.0	2.1
建物	13,078,780	12,601,962	△ 476,818	96.4	59.9	63.1
構築物	48,090	47,913	△ 177	99.6	0.2	0.2
器械備品	2,167,899	1,952,901	△ 214,998	90.1	9.9	9.8
車両	2,306	1,803	△ 503	78.2	0.0	0.0
リース資産	94,399	94,829	430	100.5	0.4	0.5
その他	28,605	27,197	△ 1,408	95.1	0.1	0.1
建設仮勘定	26,196	124,058	97,862	473.6	0.1	0.6
無形固定資産	—	—	—	—	—	—
施設利用権	—	—	—	—	—	—
流動資産	5,357,875	4,698,079	△ 659,796	87.7	24.5	23.5
現金預金	2,349,612	1,821,113	△ 528,499	77.5	10.8	9.1
未収金	2,915,138	2,745,454	△ 169,684	94.2	13.3	13.7
貯蔵品	93,125	131,512	38,387	141.2	0.4	0.7
前払金	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
資産合計	21,841,055	19,974,966	△ 1,866,089	91.5	97.2	100.0

(単位：千円)

科 目	平成30年度 決算額	令和元年度 決算額	増 減	前年度比 (%)	構成比率 (%)	
					平 成 30年度	令 和 元年度
固定負債	19,045,425	17,528,503	△ 1,516,922	92.0	64.4	61.3
企業債	15,593,012	14,002,072	△ 1,590,940	89.8	52.7	48.9
リース債務	60,891	57,801	△ 3,090	94.9	0.2	0.2
引当金	3,391,522	3,468,630	77,108	102.3	11.5	12.1
流動負債	5,362,184	5,205,566	△ 156,618	97.1	18.1	18.2
企業債	2,093,464	2,024,111	△ 69,353	96.7	7.1	7.1
リース債務	24,829	32,776	7,947	132.0	0.1	0.1
未払金	2,432,070	2,287,005	△ 145,065	94.0	8.2	8.0
未払費用	171,764	191,017	19,253	111.2	0.6	0.7
引当金	550,908	575,395	24,487	104.4	1.9	2.0
その他	89,149	95,262	6,113	106.9	0.3	0.3
繰延収益	522,953	510,141	△ 12,812	97.6	1.8	1.8
負債合計	24,930,562	23,244,210	△ 1,686,352	93.2	84.3	81.2
資本金	8,750,047	8,750,047	0	100.0	29.6	30.6
自己資本	—	—	—	—	—	—
借入資本	—	—	—	—	—	—
企業債	—	—	—	—	—	—
剰余金	△ 4,093,104	△ 3,378,685	714,419	82.5	△ 13.8	△ 11.8
資本剰余金	78,434	85,135	6,701	108.5	0.3	0.3
受贈財産評価額	30,092	30,092	0	100.0	0.1	0.1
補助金	22,897	22,897	0	100.0	0.1	0.1
負担金	25,445	32,146	6,701	126.3	0.1	0.1
欠損金	4,171,538	3,463,820	△ 707,718	83.0	△ 14.1	△ 12.1
当年度未処理決損金	4,171,538	3,463,820	△ 707,718	83.0	△ 14.1	△ 12.1
資本合計	4,656,942	5,371,362	714,420	115.3	15.7	18.8
負債資本合計	29,587,504	28,615,572	△ 971,932	96.7	100.0	100.0

※ 各表の数値については、端数処理の関係から合計値が一致しない場合があります。

## 5 主な経営分析

項 目	平成30年度	令和元年度	
(1) 病床利用率 (%)			
一般 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	74.2	70.0	
精神 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	44.2	23.6	
感染 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	0.0	一般に含む	
(2) 一日平均患者数 (人)			
入院 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{診療日数}}$	508.6	480.6	
外来 = $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{診療日数}}$	1,342.2	1,302.9	
(3) 外来入院患者比率 (%) $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	176.4	177.8	
(4) 職員1人当たり患者数 (人)			
医師 {	入院 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延医師数}}$	3.8	3.6
	外来 = $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延医師数}}$	10.0	9.7
看護部門 {	入院 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延看護部門職員数}}$	0.9	0.8
	外来 = $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延看護部門職員数}}$	2.3	2.2
(5) 患者1人1日当たり診療収入 (円)			
入院 = $\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	62,979	64,897	
外来 = $\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	14,085	15,294	
(6) 患者1人1日 当たり薬品費 (円) = $\frac{\text{薬品費 (投薬・注射)}}{\text{年延患者総数}}$	3,571	4,075	
(7) 入院患者1人1日当たり給食材料費 (円)			
= $\frac{\text{給食材料費}}{\text{年延入院患者数}}$	630	698	



項 目	平成30年度	令和元年度
(8) 薬品使用効率 (%) = $\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{薬品費}} \times 100$	74.8	73.3
(9) 診療収入に対する割合 (%)		
投薬注射収入 $\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{入院外来収益}} \times 100$	11.2	12.3
検査収入 $\frac{\text{検査収入}}{\text{入院外来収益}} \times 100$	8.0	7.6
放射線収入 $\frac{\text{放射線収入}}{\text{入院外来収益}} \times 100$	4.3	4.3
(10) 医業収益に対する割合 (%)		
薬品費 $\frac{\text{薬品費}}{\text{医業収益}} \times 100$	13.9	15.4
診療材料費 $\frac{\text{診療材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$	8.7	9.7
給与費 $\frac{\text{給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$	53.8	54.8

